よ募る南支

の排

上海錢業

會

一型 三元 三元 三元

純節約額

むまでだっ

【吉林特電三日経】吉林新政府の で行政を進行と近く完全な人替を 決行する棒機らとい

經常部 額は(単位千圓)

臨時部

三二、八〇五、五九六

一三億三千

三百廿萬圓

入豫算原

目されてある

総州に移された、斯くて統州は省

吉林政府の

幹部顏觸

在住不可能なら

しめる

南京政府と實業界の新方針

邦人を警戒

【上海特電三日塾】上湖八十萬の 日午後三時から市繁部で開かれた が蒙含者は百五十餘工會の代表五

巡警を派して

抗日

「カナニリまでを飲食期日でした。 日内に登記を命するごともに四日 日内に登記を命するごともに四日 日内に登記を命するごともに四日 日本に登記を命するごともに四日

表面化

漢口抗日會

排貨實行

(日曜日)

寧自治政府

政府委員の

日

地方行政委員會なる名稱の下に産 動か場げんさする速率省自治政府 を見の継ぶれば大性監修を をしているが聞く處によれば大

藍友冲欣金

日三

地第一册对副公司和理大 社報 L 资系社会大肆 新刊

月十

得 H

事變を機さする北支那の形勢頓に緊張し來つたのり、あり滿洲韓復榘氏を加へ三派合同の一大勢力結成の計畫を進めつゝあり滿洲韓復榘氏を加へ三派合同の一大勢力結成の計畫を進めつゝあり滿洲を窺つてゐた馮玉祥、閻錫山兩氏は益々張學良氏の勢力根本から覆を窺つてゐた馮玉祥、閻錫山兩氏は益々張學良氏の勢力根本から覆≪北平二日發■滿洲事變の推移を注視し虎視耽々として機會の至る

滿洲問

題宣言文を

歐米言論界に送る

正しき認識を求めるために

満鐵社員會愈よ起つ

倒學良の準備を進む

群氏は山西から廣東政府の通電に と教と準備を進めてある、又選玉 く教と準備を進めてある、又選玉 は関する通電を發きた 時間する通電を發きた **ル追出と省民の自主政府を組織第二は河北省民聯合して張學良** してある 顧氏、蔣氏に

果養城氏を共に聯介孫氏に會見野 通電な登したが常局は之を極秘に登成し曹張國氏の下野か要来する 【上海特電三日盤】張學良氏の命 外交方針を建議

能で自己の立場を外國に對して標 を利な管際に大立さなってゐるに が表すが動象を関して表に自國に があまりに消極

間の宣傳に引すらい 

代理司令部

する智で事態の問

を加へて事態の異相な詳細

関幹事長の手能に提出した、有意 は三日加藤新吉氏の手で脱稿と山 で開稿と山

拓務省案を支持 減額は 朝鮮總督府の方針

のが朝鮮機器所にては去 各派分野 府縣議戰結果

關外の東北軍を指揮

交通委員會⇒移

日午前九時發長春へ 日午前九時發長春へ 蛇角

□ 日人の在住を不可能ならしむる 野継銭が南京へ出現した、駅の

で、一般では、 一般では、 一般で 惚れ百パー 0 調べ研究した。

※関の行動はごちらへこるのか。 最影を盛して居るのは支部である。 さめた、學生の根據じや形げれま

サンディは漢口までいつて潜水 我同胞較人の救出に呼ばを地へ出 清州名物画版を多世態産した。 一般にして、何等かの仕事を自分の眼にある、異様の刺し自分の眼にある、異様の刺

背叛逃亡

劉珍年氏部下

在奉要人職員 續々錦州

毎野暗は二ヶ所を除き続ての城門から撤退し他方市半時備の武裝歩哨兵は普通時官と交代費となった 天府警察事務は支那側要人の政治的委員會成立次第直ちに之を譲渡する答

北平で善後會議

東北派幹部を召集し

昨成がにおけ たがその後なほ不職の代謝ル親けたがその後なほ不職の代謝ル親けてあるが値か十三名だけが入校広野時國を暗へてときなせられた、一が一日入學すべきで生も熊塚を置けてあるが値か十一名がは野を希望し 『単生の總退學音謀者十二名は軍

原三日中北平に赴る今回の事件 原三日中北平に赴る今回の事件 原三日中北平に赴る今回の事件 原三日中北平に赴る今回の事件 整に就いて軽後會議を召集するも 整に就いて軽後會議を召集するも を表にいましまる。これによれば東

職に出席する

遼寧派遣學生

| 奉天電話 |

はんこん丸船客 特電三日襲 五山入港鍛広の香港 地名の経路

**谷村正友、濱田耕作** 藤澤親雄、桑島主計、山田榮吉 

▲佐藤熈大郎片(南線々道部大長) 事務打合せのため三日八時大連 着列車にて奉天より騎連したが 同日二十一時三十分養列車にて 奉の客



滿鮮總發賣元

石鹼工

大連出張所 電話<0<xx

を子の眼の異様な刺青か、熱心に で子の眼の異様な刺青か、熱心に で

スター糊

大連市岩代町一四三

に の数日のことであつたが、グランド・ホテルの総下値の計へ、一通・ド・ホテルの総下値の計へ、一通・ 粉文化糊製造元持田商店 一般銀行業務確實に御取扱申候電話四六五二番六九三〇番 **資本金 二百萬圓(拂込濟) | 會職大連商業銀行** 工業用糊

盡護造製藥賣の確的能効 **夛少に拘らず御** 弊局製剂 特製風藥、嘎藥 蒸餾水は帝日採餾らて居ます に原用を達します。 伊 勢 用命順上ま 全ので高薬るあ用信は薬

及び記念碑、銅像類は散液を以て保 とにつきな関節に資相を理解させた 總退學首謀の **留學生退校處分** 年氏は朦朧に数ける地盤を励めや すさして最近然に数ける地盤を励めや であるが元素額氏は利心酸で都 であるが元素額氏は利心酸で都 であるため最近に致って でが海のまと 郷飲み 関に弱ってるる。 でが適に土麻の間に弱ってるる。 でが適に土麻の間に弱ってので を所持のまと 郷飲み 職へして何れ 露軍滿洲侵入 否認

占據による差押へ財産は充分なる注意を加

側は正當の理由なくして支那人を逮捕せる事無しの通際な戦闘事者に選出した

滿洲事代に関し日本軍の行動につき種をの宣傳行はま

表聯盟理事命

学 間の會談を遂げた 関の會談を遂げた 日本認の整明をなした、なほ外務でしたこの観道は全く無概なる留二したこの観道は全く無概なる留二をできる関係を越えて満洲に使入

謎

99

貴院視察團 第二班昨夜出發 機性の女公

要 を日夜九時二十五分東京繋が車で出 成)の一行は山本書記覧が準で出 成)の一行は山本書記覧が準で出 め土岐子、山崎戦吉氏(晩究)渡、『東京特電三日發』貴族院の滿銭 過男(公正)中村純九郎氏(交友) かま岐子、山崎殿吉氏(昭発) 渡 メットは何れにご金か出しても はいから、小夜子なよって野び度 いさ、さう武村へ突流したのであったが、武村は麻知しなかつた。 かう確盛に云ふのであった。 かう確盛に云ふのであった。 でむか得すダットは承知しな

を子は不安であり、疑しくもあり を子は不安であり、疑しくもあり 悪しくもあった。 悪しくもあった。 悪しくしまった。 にて來たその母語が、なっかしく はいるのであった。 はいるのであった。 はいるのであった。 歌日經つた後のここであった。 をこで三人で版立つたのである をこで三人で版立つたのである でせうしきうするさ供歌は和いたやうに、 ではうしきうするさ供歌は記さる刺 あうさいふし私の計畫さ同じなの たうさいふし私の計畫さ同じなの でせうしきうするさ供歌は私にこ でせうしきうするさ供歌は私にさ でせうしきうするさ供歌は私にさ でせうしきうするさ供歌は私にさ でせうしきうするさけ歌は私にさ すりがう云つて不安さうに酸を感られているないではありますが、かう云つて不安さうに酸をあらう 世代 1目の書には強着する。 折角のお頼みではありますが

その三日目の書きなり、ダットール(仮名)へ遣入つた。 御家庭奥様の御嬉び

毛織物、絹織物專用化學的新發明

ソウエト聯邦通商代表部

取ります (本の) は (本の) は (本の) では (本

插番 伊藤順三

史

職んだ。

其他 支那吳服 納人子供服 生い おりめん、麻 かって、羽ニニ 世れた三世話を **枝公衆徳** ・地帯ニオセの連復 店草

昇給停止は 仕方無い

負情

石本人事課長談

州代

祭はこの國家的物性者に野か能るここにすべくもくろまれて前十時より執行される戦勢一共に他家へ持ち行き、その職態祭

青しい家。 供物の寄進は相當あるべく又参鳴 で、なほ全論からの花輪、旗、

模様である、殊に

さなつた滿縅ハルピン埠頭事務所ハルピンより南下の途中行方不明

佐藤氏遭難か 伊通河鐵橋で

林西の邦人

無事避難

勇敢な守備隊員

身に敷箇所の弾丸を

製萬圓の

時計密輸

神戸税關から手配で大連署活動

仮疑者を續々召喚

世栗太郎

忠靈塔で

慰靈祭

六日午後二時

四九番地が消滅灾豚(一)に遊ごして事態を認めた、同じく野平の共祝しるびん丸総仕市内早部町ではるびん丸総仕市内早部町では、大橋で

監禁教授釋放

なほ日貨機成も二日から實行され

『上海二日餐』蔣介石氏のため南

來月

中旬に開廷

**佐告は卅八名の多數** 

見えてメキーへ変夫になり続力を増す

モ美味とい上配な味。

南の風晴後曇四

人 天氣輸船

新流行の健康法

子甘井子一帶の上空飛行約十分料子甘井子一帶の上空飛行は四日午前九時より周水子飛行場において行はれるが周水田で飛行場において行はれるが周水田で乗ります。

土地疑獄公判は

本連市役所では今回の日支兵航空 に於て戦後者監察を執行するこ に於て戦後者監察を執行するこ にがて戦後者監察を執行するこ にがて戦後者監察を執行するこ

受け乍ら前進し絶命

慰靈祭ご長春の意嚮

日

幸校

を寄逝しこの館は遺骨されつてるあため花輪だけなつてでかれの関係から

附近響成低物中勢くの朦朧により の撮影を臭へて網爺した『四平街瀬次は三日午前一時四平街鑾跡所 十五米まで前追なつぐけ酸に多大廠立守齢隊第五大隊第一中隊高橋 総鯱を受けながら異敬に終八百八

11を4多くの風潮により の提索を建へて総命とた『四平街野な浴び身に敷ケ所の質迪 電話』

弔旗を寄進し

六

千の敗兵流れ込み

元でも角職或は職務による像 を開発した。 を開発したが、 の活動や遠隙地にあた、 を関いでは時間に関連してができる場合が、 を関いでは、 の活動や遠隙地にあたい。 を関いでは、 ででは、 でで

でゐない、なほ東支南部総で原務場に臨んだものはこの内にふくん 者さして語る、低し兵後のため戦

であない、なほ東支 された佐藤忠氏は軍跡 きれた佐藤忠氏は軍跡

修澹な雙陽の被害

一 西本願寺では本山の命令で大連の 地を外全南谷寺のお低及び和教師 なる外全南谷寺のお低及び和教師 萬寶山鮮農 出稼ぎ

既に野菜家畜類は全滅して

**冬仕度に衣類掠奪** 

四十四名の中

四三名だけ

の許可が批は先づ非然神師なもの計の大連演務協会(許可指令は未着)に大連演務協会(許可指令は未着)に大連演務協会(許可指令は未着)に大連演務協会(許可指令は未着)にが、更に三日附ヤマトホテルの三ケ所に許可内閣を製くたが、更に三日附ヤマトホテルの三ケ所に許可はなり、

齊射擊

のがる

\* 名以上の大部隊であるため食糧品 豊陽支那人は機能であるため食糧品 世

するわけには行くまいから何れ新彩、豚、腸等既に全滅であるから彩、豚、腸等既に全滅であるから

田に触きに出たが楽獣者は來年度とれが、郷身者はすでに萬賢山よりの計論の水が、郷身者はすでに萬賢山よりのはいいのが、郷りるはするという。

馬賊團を撃退し 我装甲列車歸る

我兵入城し

の筈ださ《長春電話》

治安維持

牛莊秩序回復

三百名に襲撃されたが、勇敢なる日本の一二日午前十一時通速にて林西より 人林附近で襲ひ來る

自警局では地方自治維持委員會よ が可過日來教九千元の郷費支拠を受 が行ついあるが、今睡便左條科繁 なる警係五十名な事集し無販連捕 なる警係五十名な事集し無販連捕 新】 とむる事さなつた 【奉天電 に触るべく離水の時機能に放陰を 見込みなく明朝上海にはいる。常低五十名を棄集し興暖遊館 大要は今朝十時上流地が水無線 機能の振線群だしく終しれる常低五十名を棄集し興暖を修成が、大要は今朝十時上流地が水無線 機能の振線群だしく終します。

の一部に対して、 の一で、 の一で 《 長春館話》

昨朝漢口で離水せんとし

形勢悪化す 武昌漢陽も

十五日から

改正實施

夫妻は無事機體大

はいいである。

純天津產

滿鐶々道部列車運転の吹正ダイ 月一日より實施に決定を見てる

満鐵ダイヤ

燒栗卸賣

始

ものもこれで同時に関節の智で こことは配釈の短くであるが、最 によく、楽る十五日より實施の こに大體の決定を見た、微つて唸 こに大體の決定を見た、微つて唸 されての質施に伴い際始の智で あった指定順送車の運輸その他の

三日銀館に沿廊し来れる鮮人の談三日銀館に沿廊し来れり新人の談 

リ大佐機顛覆す

大商創立廿周年 記念陸上運動會 大連運動場で盛大に 身體を支へるやらで生徒主 得して第二位を占め優勢、その他 取分け五年生徒の模擬戦は空間

難鮮農を一

会は三日午前八時三十分より同校 会は三日午前八時三十分より同校 日本第二中壁校の第八回陸上運動

年前中春組の得點左の妃くである 第一位D組九九點、第二位A組 七八點、第三位〇組五六點、第

▲一般女子跳板飛込 一等鎌倉位

二中運動

でオミットさる

此の欄に有り

寫眞原板問題解決の鍵は明日の

日本新記錄續出

産兒制限 婚 禮 か 履 物は

(#)

沙河口樹商場 電九九七一番浪速町三丁目 電五七一八番

披露宴は簡略に時間と費用は經濟に

E

代で各學校も二日から複素を開始 既により釋放されたこれを交換條 のでは、 のでは、

年に取越されるだらうさ見られて一覧に取ることとなり許否決定は明正ないるだらうさ見られて一覧にないるだらうさ見られて一覧と

大連市

テ

一式

E

地京り張はお心すつ着居富よ な染ま致特値下かてるりにい らさすしに設さら染身ま橋柄 せ白 て海のい海めにすつか ヒ生 居地路 安まな て豊

式婚結

象の下に済まされます。新生活の管みまでがホテル内で鮮やかな印御支度から舉式、披露宴、新生活の管みまでがホテル内で鮮やかな印の式費は、神官、御供物、御土産、御南家遊室、御待合室一切な含んで居ります。

A.430 驱遼

**RYOTO** 

伊勢町(浪速町角)電四六五五四八六九番 くして

伊勢屋s

大連市西公園町一〇七一覧選する

類稱大々的特價提供!

お三六五六番

梶田小兒科醫院

戰死者追悼會 の式場『下岡』遺族席

特電三日登日二日セントル

世界野球選手權爭覇戰

鈴木の手焼

猛烈な投手戦を演じ カ軍見事に雪辱す A對零、

本たるア軍の残威で開始され、カーなたるア軍の残威で開始された、前日に増 軍はハラノン、ア軍はだ接手のアムたるア軍の叛攻で開始され、カ 「工事要が、かるが限います。 「工事要がで、過失し、一個第三時職 「工事要がで、過失し、一個第三時職 「工事要がで、過失し、一個第三時職 「工事要ができるが限います。」 「大学を表し、一個第三時職 「大学を表し、一個第二時職 「大学を表し、一一年 「大学を表し、一一年 「大学を表し、一一年 「大学を表し、一一年 「大学を表し、一一年 「大学を表し、一一年 「大学を表し、 ア軍敗る 三日間の學定でアッ酸けに際年される等でこれが經過に健る經過人 は確認滿洲在野遊野界の全部に正ってゐるから定めし華々しい波延

010000010A 0 計 2 A

舞デルの

町さる 

けふの小洋相場へ正生

御誂へ部とレデーメード部

常に最新流行品豐富

服はコルヤカに

明るい店 大連市連鎖角銀路 野るい店 大連市連鎖角銀路

獨立守備步兵第二大除

ひ晴れする

元 費 费計會 ② 式橡 商 谷 。四川勞門版大

湖邊の晩鐘の感ある

ラ

蕃

音

器

大





西 丰 2 六

日

り八日まで

特上ふとん綿

お布圏用異綿 - ≈ 匁.....¥ 480

羽根布图式真綿布图

丹前用異綿 一枚分.....¥ 0.60

上等 モス友染 大巾

- 尺....¥ 0·12

→ 枚...... ¥ 7.00

八百匁.

表朱子更紗

奉仕品

.....¥ 240

社會式株菓製治明



是非 **輸入元** 御試 聽

H 大連市伊勢町一〇 中蓄音器店 電話七八四二番

販賣部

·
著音器店

電話二一四一五番

商

提 蕃 音 器

フオニッ 米

ŧ 日 12 御 0) 家 行 庭 樂 1= 1=

内

從來のものと趣を異にした tz 場

フリン

(可認物便郵種三第)

河

(204)

室内式

沼問答公

ナニワゴルーラ ・ は速町ナニワホテルルーラ ・ 現速町ナニワホテルルーラ ・ 現速町ナニワホテルルーラ ・ を新設します

VI

000/000/000/000/000 尚令後共宜敷御愛顧の程伏で御願ひ申上ます の賜と深く感謝致す處で御座います の賜と深く感謝致す處で御座います の賜と深く感謝致す處で御座います 員

• ここも四電・端川一二ルタ、街鎖連

ンロサ

進調 名物毛存力來舖 みふと屋 看 6085 当 22660 当 レンジ、ネーブル、レモンネジユウメロン、グレーブフ

秋

新

荷

8

奉天官銀號と邊銀

難關は突破出來よう

各銀行の周到な用意ご援助で

選覧なからうさいふのが大機の目 他は高きに失する模様で素裏三十 他は高きに失する模様で素裏三十 他で元、注票七千萬元さ見たら瞬り

七千萬元さ見たら離れ

少下、大洋栗一億元以下として此 最高随座の考察を以て臨まれば不 最高随座の考察を以て臨まれば不 はないる者もある、佛し覧

制に達するから開業するも

兩行の開店熱望する

なるに続ては名賞共に中心

は純純液的意識に於て一種の乾直

しない、而して財産目録、牧支銀 表なごの大株は左の短くであるへ 地なごの大株は左の短くであるへ 地ではより、八十萬国際選問 を一資産の部 を一資産の部 を開発しておいて土地は約 四千坪、坪常り六十圓、建物は 建業費總和の一割減、素複電位料 提供料、未收電位料 場所機・大田の部 を一項であるへ

到減、未収電境料 リ六十圓、建物は リ六十圓、建物は リ六十圓、建物は が、大十圓、建物は が、大十圓、建物は が、大十圓、建物は が、大十圓、建物は

の突蒙直後の銀貨の騰貴、英國会駅の処き事骸にあるため楽洲事場としまるため楽洲事場

九個十一缕で腰り受け、紫葉場所を歌がに借地極を全百九萬五千八十

安分し 谷社殿が出資す

しない、而して財産日銀、戦力

日

切の

建築物及びその

共同財産で

員第一出資金に按分支出の件金總額の百分の一半以内を各金總額の百分の一半以内を各合資配解約整理費は第一出

(四)

關係方

面歷訪

對外的運動に入る

法正確立金 機械什器質却 一、五〇〇 整築質却 一、五〇〇 整築質却 一、五〇〇 計計 二〇、二五〇 八十萬国[資]計畫 八十萬国[資]計畫 「四、三八 「一、總收入より總支出を差引た る金三萬國以上な信還に充っ 「借地權及整物を養気社建設 の目的に叶ふ讓受希望者に譲 の目的に叶ふ讓受希望者に渡 でも、其質却代金を以て償還に

場合には未拂込林金を徴収し、十ケ年以内に質選し得ざる

賃借料照表による借方合計一、

七十五萬二千圓の入超波である

特

出一一時時

止安高寄

七三三兩五七三三兩五七三三兩五

上海標金

産況

入月末日現在) 入月末日現在)

戦 【東京三日登】大蔵省登表=4 「おける紫外賞場(単位千国) 輸 出 一〇〇・七一二 輸 入 九四、〇九一 、六二五

中度麻袋 南筋直積 三留比三分三 霧筋直積 三留比三分三 線筋直積 三留比三分三

對外貿

九月中の

輸輸がた

して一月以降の入超

大連連鎖商店代表ら

き歎願

會社負債の

整理方法

四七七、四二一財産月録によるで養産合計一、四七二、〇〇六正味・
対産による変産合計一、〇一五、
ハニニ

資金財産目録及貸借対照方の部(数字同じ)

市場電池大会本

東京期米 東京期米 東京期米 東京期米 「公元 スクース会」 「公元 スクース会」

利益金處分

本に現在社里にある。 一社覧の個人登撒さして整合社の会 一社覧の個人登撒さして整合社の会 一社覧の個人登撒さして整合社の会 一本のが送けれまることになってる。 をのが送けれまることになってる。 でのが送けれました。 をのが送けれました。 をのが送けれました。 をのが送けれました。 をのが送けれました。 をのが送けれました。 をのが送けれました。 をのが送けれました。 をでは、 をでは

磅爲督の下落で 我海運界悲鳴

建値變更は實現難

大豆低茶 大豆低茶 中朝の定期は貿量全くなく大豆は 低落を辿り豆粕受相伴れて軟弱、 豆油は保合商駅を示心高層は軟調 を辿った

が式會社を組織

止貨現送激増で 内地株式崩落す 鐘紡は九圓安、諸株共新安値

無 ・連旦品簿の関係 ・連旦品簿の関係

り明日の際応時が無適はれてゐる 一般到し附近に中國、交通銀行等あ 大時に至るし取除止まず既衆経々大時に至るし取除止まず既衆経々 中國實業銀行

青島支店取附

左の通り(単位十貫書園 ・ 地物 ― 活鯛上八〇下 ・ でも、中エピ上三二下 ・ でも、水ニベ上五下 ・ でも、水ニベ上五下 ・ ボース下一、 活 ・ ボース下一、 活 ・ ボース下一、 活 ・ ボース下一、 活 ・ ボース下ー、 活 ・ ボース下ー、 活

株(弱保合)

二十三圓四十錢

年末金融 懸念さる 預金利上招致か

> 急緊財政案 英下院を

五品(字)(容) (保合) (保合) (保合)

通巡

の 本上一〇下六 の 本財師初――アワビ上一九下一三 カ マス上三五、カヂキ上六五下四 八 人 入 一甲イカ上四〇下二五 タコ上四〇下二〇

的の買物があり、それ

先物約定の如きは少量に

り最近における正貨現 

年 (ロンドン二日餐) イギリス政府 第三職官を通過と上院に通附される 第三職官を通過と上院に通附されること、なつた、これで來年度最

一部では、 一では、 一で ・一個来見所の風話 があった連鎖側店 はいよく会質會 になり二日の機會

市保合

時であること

目 本年ノ本日 昨年ノ本日 393.3 132,535,0 2.675.6 316.1 13.856.0 981.0 319.4 \$ 57.4

9.752.2 11.326.1 415.7 173.7 18 667.7 848.8 1.087.2 3.447.6 4SS-1 13.1 287.9 43.3 188.5 57.2 133.0 278.8 57.4 418.4 155.2 1.642.4

260.7

滿鉄株の中値

541.7 137.3 毅 25,065.3 348.8 889.7 66.3 138.3 油 1.092.1 581.7 其他ノ油類 2,180.0 3.G10,0 粉 6,0 77.9 1.770.2 1.015.8

456.7

清鐵舊株 四七・〇〇 市績々引合申候間多少に拘ばら す御用命顧上候

鉄

麻袋 産地敷青井四分の三安高 たる 産地敷青井四分の三安高 香工協比安さ賃替の動語型ときた め不安心下ら値頃観から華間側員 麻袋見送り

全世 X X X X

五店質 櫻井 内。 若狹屋質店 。醫

、躍活の屋 密管出货 融便 機な

手形交換高(三 日) 金 「の名林」「一会」「売回 銀 量 枚 「一会」「売回

替

相

場

上海 (高大) | 上海 (三十) | 一支の質に高寄りこれるも成響がの質りに押しアト商内関散、大連航資りに押しアト商内関散、大連航資を下、個百五十八兩見常に三井物産及商館筋の費り戻しあり信替や、强会みさなり磅十二月六十十六分の十五進響質び、個百五十七、四分の一三井質び投機筋管で、四分の一三井質び投機筋管で、四分の一三井質び投機筋管で、四分の一三井質び投機筋管で、四分の一三井質び投機筋管が、 天津行

大声河北丸にて一路蔵取へた大声河北丸において関かれる十川炭東において関かれる

河北河南等各省より集 氏をはじめ三十一名、

氏をはどめ三十一名、何れら山東郎つたが、一行は熊部委員郷委民

張作相氏赴平

劉覺民氏語る

蔣介石氏の下野

第四次代表會議に出席

種の興味を以て巡へられて居地立運動の戦さ結びつけられ

一萬數千名失業

內於技術家連反對

り右に関心何等訓令に接二

代はるべしての歌に関し失野参事ではおいて張樂良氏を根手さして

形 しめてゐるが、(唯人もこの重大離) あっつかけが無い陰り交徴を開始

交渉相手は未定

矢野公使館參事官談

東北派は頗る焦慮

外交委員會連日開會

干は一 月後に

してゐる、而して現在天津地方の經濟力は七萬の奉天軍を僅かに一ケ月半支へ得に瀕しつゝあり、平潔融線會でも慰天軍の起能を見透し今月から緊概金を停止する意識を稼駕事態の發感により軍事的、經濟的に根據を喪失した奉天派は破産の危機原来津二日發』平潔一帶に製綿してゐる家天軍約七萬は兵器訓練共に構鋭の稱があるさいはれるが滿 は一大分解作用を來すものさ見られてゐる 行詰る 電につき二日機関通信を通じ「齊」れば蔣介程氏は齊世英氏の日本湿いた。 た【<sup>案天電話</sup>】 南京政府は否認

| 「関する繋が不氏の回答に本日 | 一、上海で和平本會議を開催した| | 一、上海で和平本會議を開催した| | 一、胡漢氏以下の自由回復は何 安協條件工賛成 蔣介石氏から回答到着 こあり 医東政府は二日の 国際會議

保境安民は容易

府から解外された形であるが、この民権持會の會長であり郷郡氏は軍委員會の一員である關朝爾氏は軍 **農業持倉長** 闘朝璽氏の抱貧

難局に當る者なく

M議した條件には修正 一、全

計議したい

して氏の立場に同情を寄せてゐる

呼倫貝爾の

はり晩葉削減の通告に禁む を要求するここに決し続け を要求するここに決し続け

**一萬一千名** 地方公吏整理

は共業教派のために要す

内務省の地方行財政整理報に依れ 整理の壁が吹かうさもてある折桐 に依り中央地方を通じ管吏に一大

獨立運動起るか 華氏の態度注目さる 参り 陸軍省(三日午前局長等 無い 医軍艦根、移山次能、大概省原製上陸軍行士を大蔵省家につき協い、大概省原製上陸軍行士を大蔵省家につき協い、大大戦省原製上陸軍行士を大蔵省家につき協い。 1000 では、1000 では

公債發行

を発がて際がて居た呼倫目間の を充分に続はつて勝楽をでした時代と を充分に続はつ、然も海道がか殿の を充分に続はつて勝楽である聴識を氏は去 を充分に続はつて勝楽である聴識を氏は去 を充分に続はつて勝楽である聴識を氏は去 を充分に続はつて勝楽した時は彼い を充分に続けっている。 を充分に続けっている。 を充分に続けっている。 を変ができる。 で運動が全然これまさは表 でででいている。 でででいている。 でででいている。 でででいている。 でででいている。 でででいている。 でででいている。 でででいている。 でででいている。 ででいる。 でいる。 でい。 でいる。 東京三日登』内務省は大蔵省明 「町を登代する必要ありさ進電した 内務省の野策 撮版の極めて風歌な場合は生産な 腹前根を寛歌に朦朧し来年度摩算 に関連した三日登』民政財政際理会員 土木局廢止せば

開始

「ハルビン特観三日整」呼倫日間 「他一般が一般の「大学」では、 「大学」であるが、実然野道甫以 あさころであるが、実然野道甫以 あさころであるが、実然野道甫以 をころであるが、実然野道甫以 をころであるが、実然野道甫以

本日午後飛行機で帰來直に張撃良 顧維鈞氏歸平 『東京三日登』隆野に大熊湖を加 案反野の全國土木技術で代表 を発土木原は二日來能然大熊指を つて監修することになってる を発土木原は二日來能然大熊指を つて監修することになってる とつゝあるが第一年段として安選 會館で開催を出張所長の思考 た地に・一年前一時では、本日の技術館會服 大人ケ所の出張所に樹を飛げるた。 大人ケ所の出張所に樹を飛げるた。 大人ケ所の出張所に樹を飛げるた。 大人ケ所の出張所に樹を飛げるた。 大人ケ所の出張所に樹を飛げるた。 大人ケ所の出張所に樹を飛げるた。 大人ケ所の出張所に樹を飛げるた。 大人ケ所の出張所に樹を飛げるた。 大人として、本日の技術館會服 大人として、本日の技術館會服 大人として、本日の技術館會服 大人として、本日の技術館會服 大人として、本日の技術館會服 大人として、本日の技術館を 大人として、大人として、 大人として、 大

反對運動

(性) というではないがら、体格子の「最かはなう思ふって女の心はは、ないから、体格子のこうがあれないわ」

「また、今度、どこかに遊びに行かう。れ下らないここは高れて、 を検子は鰤を上げて云つた。

時び、 意信をと すだらうかし

しほんさに、

察一さんかさても好き

だ。だんく嫉妬を感じて來るの

させてしまつて、関あやまるよ

「大丈夫よ、今に配さか使りたよ

排日宣傳はこれから

た見機めるさ、そして大第に平線 地の態度がどの程度で落ちつくか を見機めるさ、そして大第に平線 に取りがとの程度で落ちつくか

ハバピンにて秋山特派員

総これは日本軍の行動とは全く

る風があった、競外の要旨は南京

大平 うであつたらう……哈市の公報午 うであつたらう……哈市の公報午 であったらう……哈市の公報午

法權交涉中

なんださ思ふわし

でしまったち、もう遊ぶだけ遊ん たして遊んだ時分から、今まで、 ほんさに漂山遊びすぎたわ。あた し、もう遊んでられなくなつたの あっきんも、私の標手なんか

本

店

だから、家を逃げ出したんだわ。

生命財産の安全を保障されず 本國心打電

法權撤廢の支那側提 で る時は 不慮の 事態を招きく保険されぬ、 新くては明年

か出來ること、奏ましいと思ふり「まさか」

思って逃げ出したんだわし

一さんのお嫁さんになれるさ、後に

電五九0四. 歐米有力紙の 悉く支那の態度非難

家族表彰

兵役義務者の

商大專門部

廢止反對を陳情

止反響を叫んで學生

張學良氏を 飽迄膺懲

愈よ復活

が広聴するに我軍部ではがない、大阪であるの風影が行はれてゐる

縣公安局

『ハルビン特體三日整』東支銀入 ・一時間に取り突戦支那順死者二 ・一時間に取り突戦支那順死者二 ・一時間に取り突戦支那順死者二 ・一時間に取り突戦支那順死者二 ・一時間に取り突撃を持つた蒙古騎 ・一時間に取り突撃を持つた蒙古騎

か、僕にはちつさも見當がつかなら――何で急にそんなになつたの 「出來るだけはれ」

があしほれて居る彼な、佐枝子打ちしほれて居る彼な、佐枝子

豫算節約と各省の對策

行政基礎を

危くす

陸軍、大藏案を一應返附

潜入活躍 石氏の便衣隊

職者たるべき陰謀を介てついありに入込み土脈と連絡し東四省の首。 を『奉天電話』

東支西部線に 守備隊と交戦

「困つたわれる」

それは真質の彼の聲だ。

「関から変を消すつもりらしいか

懸めるさ

第二の反抗場 S. Karangara

ある決心口 B す

んかし

子は、狭から手巾を出して、か さう云ふかさ思ふさ、急に佐枝

ちやないか――版つたなあ、泣いの場合とは、まるで事情が違ふん

彼がやさしく、肩に手をかけてたりして」

に塗つた事のない、事美さいふ嬢」「下らないとを云つて、無を取くんなにも力を落させる女性――ま」にうつぶしてしまつた。 金剛 一次の手を振って、佐枝子は、根がして頭敷」

菓 御 級 高 最の 界

縣山市 張 出 通 店 堂 月 連大 前番 交 <u>-</u> 中 話

満洲『のカステーラ専門店 大連で初めて生れました

月

(七百匁以上附)

定價金三圓二十錢

一驛長釜前崎

▲玉子の白味御入用の御方樣は御來店下さい無料にて差上ます。御註文の際は市内遠近に拘らず早速配達致します

上海の抗日運動と我陸戰隊の活動

年

んさするのであったと呼楽軍總司令の

六

連鎖商店改組案

和

り能事者に一低する処き口吹を洩がれる態度をされて満難は影破経然たる態度をされて

ちらてるたが、問題は意外にも合 をテンボ の變化を見たの をテンボ の變化を見たの をランボ の變化を見たの はでは概義さらての並場から機械能

滅

(日曜日)

事變解決まで

貿易は不況 上海にて日森虎雄

日女經濟の上にヨリ強く表現され 日女經濟の上にヨリ強く表現され つては、日華融画の職に解究し、ヨリ衆城化するであらう無日賞を コリ衆城化するであらう無日賞を コリ衆城化するであらう無日賞を かいました。 また は は で は かい こ と は いい こ と に いい こ と は いい こ と に いい こ と は いい こ と に は いい こ と に いい こ と に ま いい こ

【パリ一日教】佛岡銀行發表によるこ九月二

山田商店株式部

一七億圓突破

を して ある。日富の不法班能は 投機 に ならんさ にて ある。日富の不法班能は 投機 と して ある。 日富の不法班能は 投機 と して ある。 お人 酸

の對日宣戦ビラ『下左』電車に貼つけた抗日ビー浦路支部前における我陸戦隊『下右』专那側数

**帰國銀の金準備高** 

綿糸引高

麻袋變らず

□三山田岡店は 五品取引所さ同日生れ の老舗で 懇切確實な

…へ田山は引取御の式株 が取引が出来ます が取引が出来ます を関連します で構さしては優勝単に で構さしては優勝単に

友人總代 總代

父二届本昇平儀病氣の處養生不相別十月三日午前と時十五分死去仕候間此段御通知申上候前上段御通知申上候 祭ニチ昇昇 郎郎吉郎ノ

(版內市)

の原東で會議か開き、合流安 南京廣東兩政府の代表は、

合流政府の

(=)

の安協

廣東

社

說

分間にわたり時局に関する重要は一臓な途げ一時齢去した

時局對策に關し

満鐵首腦に要望

地方委員代表昨日滿鐵訪問

迎歡書投 すらさは傷中

したものでその解は歌じ

况日

B

れに獣し内田總裁は決

で熱情を面に現はして答へる所がない

◆繁々たる非確を他所に軍除動間 に名をかつて戦験見物、ドサク

では何よりも暴國一致の努力 能底が期さなければならか、それには何よりも暴國一致の努力 れには何よりも暴國一致の努力 れには何よりも暴國一致の努力 内地に代表派遣 ても無論語君と同感であるかは、出來得る限り善處するであると述べたので一同滿足の意を容能大藥地方部長その他こと順合と一一行は即夜大連發それんと呼ばれる。

打開策の研究を慫慂

各要路に直接運動

所は排斗運航深板化の現狀に鑑み【上海特體三日發】管地敞工會議 第三回建議 

八協力を

のふ南陸相に随情した は特に激勵 岡田青聯代表語る 青聯代表 である事が作る▲が決して安心し である事が作る▲が決して安心し である事が作る▲が決して安心し

○ 現物後基金級型 ○ 現物後基金級型 ○ 現物後基金級型 ○ 現物後基金級型 ○ 大豆(探物五五四○ 五五四○ 大豆(探物五三八○ 五三七○ 出來高 一萬一千枚 □ 出來高 一萬一千枚 □ 出來高 一萬一千枚 □ 出來高 八百箱 高 梁 出來不申 鈔

要路に陳情

常市趣らす 常市趣らす

文簿活房 記版

見帖即

◆定期取引(單位經)

南方大旅社

科

お 米穀商 ② 志摩 神田 命は 大連市若狭町 E

非: 設備、室あり、洋式風呂、洋式便所 室あり、洋式風呂、洋式便所 を開いるのでは、洋式人小各種数 民衆的大旅館現はる 

致監部 谷单 電話七〇四二番 商

大百名を移民せしむる事が出來るさいふにあり ・大百名を移民せしむる事が出來るさ、一ケ年に日本人百八十 ・民に適用してもよい事を證明した、之を適用するさ一ケ年に日本人百八十 ・民に適用してもよい事を證明した、之を適用するさ一ケ年に日本人百八十 ・民に適用してもよい事を證明した、之を適用するさ一ケ年に日本人百八十 ・民に適用してもよい事を證明した、之を適用するさ一ケ年に日本人百八十 ・民に適用してもよい事を證明した、之を適用するさ一ケ年に日本人百八十 ・民に適用してもよい事を證明した、之を適用するさ一ケ年に日本人百八十 ・民に適用してもよい事を證明した、之を適用するさ一ケ年に日本人百八十 ・民に適用してもよい事を證明した、之を適用するさ一ケ年に日本人百八十 ・民に適用してもよい事を證明した。ことを適用するさいふにあり 年百八十五名を認む ◆勿臓かゝる徒懸か選出した乳は ・ 一市民谷自が資ふべきものだが、 で等が選舉に際して市民と約束 したこさが一つさして今日なほ したこさが一つさして今日なほ 米商議委員會愈よ審議を了る 北米移民 ◆書々は次期の選舉には優良なるいのだ。 現市議二三を除く外は既然オミ 大豆

部官憲は生命財産のみならず警 の上伝地へ同ふこ 製の自由すら考されてあるか放 製の自由すら考されてあるか放 関東職群合 C関東 職所合 C 關東廳辭令(二日付)

上京運動に開して

九八八五九六八五九

學譽秀天涯

和洋式 日本和洋式 日本 橋ホテル

アホテル アホテル

尖 ナ端 = 2 行

豊富に取揃へました

浪 速 町 (頭飾品)

御調度品

御支度は何卒今中へ

日

しかも発年までのやうな単純な一一

若同さしては薄微紅、緑色、オレ

・・・無地の小窓になっている。 無地の小窓やうろ

小変やうづ

ムなど、中年向さし

◇…御所車 飛なごたあ

つて來ます

というない。 ないません、何被つて薄色の方が ないません、何被つて薄色の方が ないません、何被つて薄色の方が

コートのネクタイほど、否それ以の学術で魅めげさなのぞいて見ま

秋から

ものですから女性のだれもがこれ上にも「きもの」の姿を雅かてる

生物は昨年あたりから海色が優

市あげは疋田縮

値段は昨年よりも三、四割安

お好に叶ひます?

でですがごちらかさいへば獣薬術ですがごちらかさいへば獣薬術 帯揚は 鹿の子の小

翠香

電四四六三掛

いものです、値段は一圓二三十錢やうに黒を配したのもなかくしよ 無、赤に黒、クリームに果 四圓位

性給や鬱揚には人継続は気ど見え ません《今中洋行調べ》 慰問袋 きでされ 

て、お舗面の方へは響る
で、お舗面の方へは響る

を用ひ、さて土壌が出來ましたら

サーワヴア

を極の傾から眼の周朝、耳交、あかは熱等へ適常に伝かし込んで

サーワ水白粉

ミッワ

サーワ

寄附金千月日

▲金十匝也 島根縣長尾藤市 東計 百八十九圓七十四錢也 十四圓四十四錢也 十四圓四十四錢也 大連市 ぞ所總務課に送附

讀書の秋です! 電燈の明るさは

・秋です、焼火焼むべき機・盤に四十ワット、八壁なら四十次、焼のま近で本を置んだり、照明の ろしいのです、乾燥でまで本を置んだり、照明の ろしいのです、電点と眼さの距離 ちゅうがないのです。電点と眼で六十か しったり眼網をあるに見ない。 ちゅうりがくなりますと歌歌の持つ ちゅうりがくなりますと歌歌のおり りったり眼網をあるというです。電点と思いるというです。電点と思いるというです。電点と思いるというです。 どの位が適當でせう? するまり近くなりますさ歌歌の持ってあまり近くなりますでいる三十ワットの歌歌ならば
コメートル、六十ワットなら一メ
トならニメートル、百ワットなら一メ 新内全性を明らしい。 ですさ端ご光を いったりまりませんし に光を集めるやうになりませんし に光を集めるやうになりませんし

000000

半量以下

で充分

中村都右衛門支

に三十ワット六しせる必要があります、あまり ら是非笠を用ひて光を下へ反射さればいけません、又 を繋け機に光を放射するもので重 では光度が極めて貼いのですか 線が弱つて光度が弱くなり ならわうちに取換へたが經濟 線が弱つて光度が弱くなり熱ばかガラスを明るくしてないても中の あまり古くなりますさい り高くなってメー

は不確です、あのこく平見なや球にた一般のまんどう笠の、それも乳色をです、それから古くなつた電球を …電球はいつも綺麗に明ますが

トルの嵩む割に をはないのですから有識にできる的にないのですから有識にないのですが誤っても不能であります。 大浴によれが誤ってまれたが誤ってまれたがにないのですがはないのですがはないのですがはない。 と云ふの

がら、では、一方から切いてゆくといふ自然で、 のサーワ自然は、一方から切いてゆくといふ自然で、 をは、すってすから水師をが説に良く利った。 れば落らな の、假りに衣裳へ附くやうな事が

無いのです

事をと、のの特別のです。 事をと、お紹介のでです。 が時間ませいのです。 大がははいのです。 と、答にはいるです。 は、対手でもは、手でもは、手でもは、手でもは、手でもは、手でも、また。

ました

人院隨意

院長

内田類一

西公園町三トキワ小学前

000000

化粧崩れせぬ

が、附ける、

で、神に崩れず、また網路ち を館自物同様に附着、伸らば を館自物同様に附着、伸らば があるます、然も り、また二重盛が質によく利い、また二重盛が質によく利いれた。へは何ふ程よくでが過ぎなど、は何ふ程よくではない。また二重盛が質によく利い、また二重盛が質によく利いました。

こ。後の概念の対象の 下は少量な程却つて美しく附 下は少量な程却つて美しく附 は、他の化粧の時とは全く違い、他の化粧の時とは全く違うで、目鼻笠全くくつきりと

サ ワ 粉 0 特長令



2007 朝日町八

三木元子女史 ますと、お他科は一般と生きて参い。 ますと、お他科は一般と生きて参い。 ますと、お他科は一般と生きでと、 を認して一寸終ったもので之がますと、 からないのでごさいます。 かの水白粉が大大や印料にて、こがおえてと、 ますと、お他科は一般と生きてと、 を認して一寸終ったもので之がますと、 を変って、がなったもので之がますと、 を変って、がなったもので之がますと、 を変った。 を変って、がなったもので之がますと、 を変った。 を変った。 を変った。 を変って、がなったものでと、 を変った。 を変った 

サーワ化粧水

◆化粧上りは一倍美しく極自然 ◆手間暇要らずに手早く出來て

ワ白粉の薄化粧

企庫

もって、大きの好力に従って、大がをガーセか金巾でもつて軽く城がり服園、特に鼻のされ間筋の皆易い部とのでもつて軽く城がしてもつて軽く城がでもつて、大づ弦で、大づ弦で、大づ弦で、大づ弦で、大づ弦で、大づ弦で

竹道い目に水白粉なり、或ひは 俳 優 學 校 專 推 製

坂東彦三郎丈

क

ました 新定價二十圓より が

大連市浪速町浪華洋行前通支那風呂向 話八六一

ですが、之は濡手城を揺れに捲いたものて下唇だけへ、又近代風に

+

7 **D**5 紅色

金器銀器の御註文は

の世興金

店へ

11 る秋 11

(五)乾きが頗る速いから、湯化数 かいても乾かして叩けば、粉がいても乾かして叩けば、粉がなって砂がして叩けば、粉が

話童 0 岩

7 砲 な

5

5

で

ガルを出帆して日本へ來ること to

の喜びは言ふ迄もなく、島中が大 「おい、食兵衛さんの娘が来るつ

たここのない種ケ島が見え出し 始めて日本の國がそれは一日もご を起りついけました。 「う、もうちゃんさ美人さんにな はは 悪い煙を吐いて、大きな 「え、異人さんの船に乗つて?」なりました。 地球かぐるつき中分も残って、望に滿ちた旅でありました。 眼も青くなつてるから知れない

の力を動き難つてるました。

所やで、お

たのな、いよく、船の出るつてい が出て仕機がなかつたんだ。」

が微べりに立つて一人で泣いてる「いのか、おれ見たつけ。あの螺さん」はのか、おれ見たつけ。あの螺さん」は 8 黒い髭がたん/ 島に近づいて

常祭のもほらもい変を見ては他につてるた鳥の人変も、今殿の前に 兵衛親子を見てゐるだけでした。 家に触ってからは、なし振りに しい姿を見ては低に

立つてるたとめに関なのんでやりないと思びました。あの時は氣が

いてあました。 を さんの顔を見た時 を手触すものか。さ思ひました。 もうわたしの手門から膨したくあ

であてくれてるたチエモトをおれ 大知らない異類の空で心から慰め 大知らない異類の空で心から慰め

さ、野が泣いていひました。 ながした。 なんでした。なんさかして、いつぶしんでした。なんさかして、いつぶしんでした。なんさかして、いつぶしんでした。なんさかして、いつぶした。

りませんので が出ましても が出ましても が出ましても

サーフはなを使用する マノビよく、良くツ 繰りますが、それが「度洗り落し それから身體や手足へも供給を でも、ほんのり でも、ほんのり しさに愛つて居 でも、ほんのり

(八)自然無せず疵點を作らず、選挙し内容が乾いても、化粧が 着し内容が乾いても、化粧が

(月九の座伎舞歌) 門衛右五川石の丈門衛右吉 **西**廣場









大連市信濃町 販賣も致します 

でさい特に御便利な月賦改正値段カタログ御申込

撫順民會にて

鮮人避難者續く

を増し朝鮮人民會でも敬容しされ 民は連日四五十名づ、今間その數 民は連日四五十名づ、今間その數 

鮮農の被害

三不管村は先頃來既に五回も睡販の 夜警團を組織

れ」で中出た何分物事を戦耗に考謝氏の家人たるこの者に渡してく の阿片は差機へ解除になった数、一

大部隊を以つても

たら經費倒れ

しうした敗兵も変を見せず

仮应應適

0000000000000

島本大隊長 撫順で語る

ム上出來な

1

公安隊敗る

六百五十名の既残静時匪賊賊が現。

時局の不安から

生活の不安へ

匪賊横行 も死に角線観されてゐるが日本

兄童たちが 往來

一日來奉令官 二日來奉令官 二日來奉申 同上 明社長 同上 明社長 同上 二日長春 一日縣

以日章旗を見て **社喜する鮮農達** 

安維持

狊"

御中越次第進呈カの説明か新子あり

のため一日韓出のものであったと、同地方は日本第二區が配の鮮かった彼等とて其喜悦は極籔火上 大甸子一帶の鮮農漸く蘇生

飛電に捻し続井電伽隊長以下二日曜くて居たが然日が蔵日が蔵即版か続ののは、て居たが然日が蔵即版か続のの職に後

新義州の飛行場 擴張工事に着手 二萬數千坪の大飛

行場

の豫定番組も約二十餘組による由一般三十錢學生二十錢子供十錢位 排日宣傳ビラ

に現はる

奏效頗る確實なる

蟲

チワ

制作のなどが

○ミッワを最液

製

大小紙の

和大

山羊の

乳

に何よりの榮養料

配 第 領 報 達 日 次

林農園

山

羊

牧

11羊牧場 大市山吹町一〇六

連

電販

**荒** 

至所

水害救濟 は大学が一般では、 を表が一般では、 を表が一般では、 を表が一般では、 を表が一般では、 を表が一般では、 を表が一般では、 ででは、 ででは、

頓宮事件

\*國プワイヤ倉社製インダク 後來のセンマイ式を電氣モー

金貳拾五圓

大連薩擊町 谷 澤 ラジオ電気

電6662番

合辦契約の 

大肚川からの

美味滋養。强壯飲 料; 四二化學工業博覽會銀牌 頭蓮東京博覧會優良國產賞牌 批鐵葡萄酒



制汗制臭を兼ねたる收斂性腋臭藥 ショック腋臭藥 共他汗多き、或 ミツワ婦人座職人座職 理學博士 數學士 直接販賣店規定御申込次第送呈 ミツワ変毛液 或ひは臭き病症 即ち手汗、 立ワ 0.000 入二十级布架 ミツワ野ので サラーズ 門票·兒幼·兒乳

・ツワ 頭が 質 程中通車電的漂信市連大 院醫井幅 番九五八四語電

各學校御指定

市

13

木町

山宣

Ξ

三服

九店

8,40 Waterman'S Ideal FountainBen **市明建設,通出共用企**文 **店具文堂書滿** 借六〇三四四九九四話章

洋服附屬品並如類一 太

澤 庵 一个 五人錢的 t

季節向| 新味と――御手軽 御來客に 六を

旅 順 商 店 內案

恤兵舞踊

料品店・雑貨店

郵券代用三層以下よろ

し、東京市内は一抵にても配送す

式會肚大鹽安店

防備隊と激戰中 邦人の安否氣遣はる ないので同村太平ば公會にては今ないのでその記警察署に属出でた風でなってなっていますることとなっていますることとなっていません。 の被害を受け住民その歴に安んぜ

ッ の滴 ◆南京虫軍全滅

東京市下谷區二長町豊瀬原田 東京市下谷區二長町豊瀬原田 大見屋間店

職に侵されたる場合に用ひて奏效確實 蜈蚣、蠍、守宮、蠑螺、蛇、蝮、等總て 蜂、蟻、蚊、蛸、虻、蚤、虱、南京蟲、毛蟲

令大 t 0 明 四五洋山間各紙

TE ----- 店商の等吾

町栗青市順旅

商野

卷六八一話單

吉

外の服洋紗羅 石 世順 矢 W を寄立御度一たしまめ始を いさ下較比組を設値さ物品

千代田生命保險相互會社代 理朝鮮火災海上保險株式會社代理 幡 清店店 語商 Ξ

缸

11

ء

江 福末

鲁

連 大 店 本

節四多田安取頭

電内話出

0大新

+ 年

旅

順

亭

話 23  $\equiv$ 0 盐

**(** 

0

電話三〇五番ラ

前館長時代あらゆる非難に整題したではからんまっとは小ちんまうの影響が一点を開きたとやトーに利用者の便かが十月一日から底々満蒙支那に関する資料を公開されてそのが贈ることとなった。一点を開きたが、できるとさいなった。一点を開きたが、できるとさいなった。一点を開きたが、できるとなった。一点を表した。 から左の謝電があつたさ 態々代表者た以て御慰問に接し 態々代表者た以て御慰問に接し 態々代表のと遠路臨々代表の差遺 時局に際し遠路臨々代表の差遺 時局に際し遠路臨々代表の差遺 時局に際し遠路臨々代表の差遺 中上ぐ、長水警察署長

瓦

房

店

共大にヤリますから御が合はいりので、ウラ恥かしい處者塞「アノ

アー丁目裏通 日露洋行

は御來堂下さい、この痛む御方樣

八堂主風呂崎

ージ、あんぶく

歩兵中佐

外科內分泌病 医學博士堀泛塞 大連告野町七一 一電話三二六七番 職を取扱ふ事さなつたが年齢は三国房店範囲局にては今回小児の保

又曜日經費節約の母うか数室の壁を生薬は職下に出てるるそうだ▲

西品 参三越商品券

はありませんと情報人であまします。又認の塗り替へも下部の館はありませんと情報人でやつてる が別に不平や文句を事にしたこさ が別に不平や文句を事にしたこさ が別に不平や文句を事にしたこさ が別に不平や文句を事にしたこさ ロの多い事ですから二、三宝日や 、進人で塗らして覧ひ座いさ申 た、進人で塗らして覧ひ座いさ申 た、進人で塗らして覧ひ座いさ申 た、進人で塗らして覧ひ座いさ申 た、進人で塗らして覧ひ座いさ申

り …」 本要するに双が理解もある機 でもでも、さ云つて齢りに であべした、さ云つて齢りに 安家 機両一二〇番地二階近上 一貫應相談 では、一貫を持力サ五間家族的に 一貫三番地 電話九六六九 電話九六六九 一手起が、一手起が、一六、六、 一貫三番地 電話九六六九 安房アパトー 電話三九五三 田 部 井電話三九五三 田 部 井 風呂電話等設備出 電話三九五三

州

小口 俸給者に低利 単迅速 二 田御切一 番

政にはず、第四人のでは、第一級を上 二十六年 18

ク電ニニ〇六六

院 **謹**醫院。 大連市岩代町十番地 管話八五九九番

院醫中野 一個四六電·五二町野吉連大

**店**(容当一

滿洲牧場 電話六一三四番

大連市信濃町市場前電話七O八七番

・ウザキ果実

電話三七五六

子溪井烷 医耳 醫 樹穴穴の穴極 ブスカット・ウ 桃梨

設開所泊宿易簡 寮 岳 熊 宿泊料 一夜金三十銭

破天荒の大勉强

JII

魚

西広バ西通電車道 肺肋膜、 福壽堂 せきづい、 電話四二八〇番 婦無無痛 中

病性 の連大 ・浪き

井ばな蟾ぎ 金ぷら 江斯 並に柳川なべ 15 八十 一圓卅錢 も始めた 7.

-



置設ンゲトンレ **キテ田 山** F前泉温すドミ町日春 左ル入町狭若

(搜寻芳寫)囯丁四町速浪市運大 院醫富安 で は 八正 の も

やかいい おでん 小额物 るなめし よかん

日 洲 四月十年六和

哈爾濱の火事

慰問金を寄附

▲月見町五 中島斗一次女秀子機 されたが無事だった 追

○ の噂 見地から銀日機製師 かっぱ 見地から銀日機製師 登間 八、六、四十音良家族的 電元四九一、海際街九五番 電九七六六番 電九七六六番 電九七六六番 電九七六六番 電九七六六番 電元四九一、海動らせなどぶ 新築ビルニ、三階六、十二、三階六、十二、三階六、十二、三階六、十二、三階六、十二、三階六、十二、三階六、十二、三階六、十二、三階六、四十音良家族的 

大家 鳴鶴墨一三五敷地一三 和十叠貫四〇側 電10つ三三波 和十叠貫四〇側 電10つ三三波 東二路線路上六四、洋二室 東二路線路上六四、洋二室 金融 立替数4 三番地 立替数4 市中日洋行所 和 永 京

▲が常被受掠教諭も強食してゐたに於て冷水摩擦を取行さしてゐる 貸家

下宿

元十二五 (番別) 家事「知」 (番別) 家事「別 (本語) 東京 (本

下宿

水升最 と 電大水 余

年 新家出 管内三 調整會徐 家籍二 農業 斯基酸の妻 幕王氏 (三) 一) は二 日午前二 時無 断家 出 を含 が一○六號人力車に乗じか木町でが一○六號人力車に乗じか木町 献車を衝突し小花は地上へ投げ出前おより來た淤東運送店の貨場自 姐さんの奇禍

たので四日午後二時四分養列車に 軍隊より感謝

お参門第二師歴長、武波長将署長 出訴部隊を関中であるが長務に在の他の 楽騰時局委員會から生田、杉田の 楽騰時局委員會から生田、杉田の 慰問使に謝電

(日曜日)

重要資料公開 ル Ľ

本願寺慰問使

リナ月一日曜まーム内に獣獣した 東飛場げに関聯して新たに安東馨 東飛場がに関聯して新たに安東馨 兵站司令部

郷軍警備解除

井戶水質檢查

富永次長歸鞍 秋季運動會を開催する

一つたが其の後郷添以が快方に向っつたが其の後郷添以が快がに向っつたが其の後郷添以が快がに向っつたが其の後郷添以が快方に向っつたが其の後郷添以が快がに向っ 高女の運動會

東語 大連西公園町一〇五 育英學舎 家文 宇部通九六電四三〇八 昭和家政婦附添婦會電力 成英託個人及クラ 成英託個人及クラ

邦文 短期養成 邦文 (午前・午後・夜回

**貸家** 僧馬町六番賃廿八圓 

河島ミシン店 電話

尺八 琴古流指南 二葉町一五 二葉町一五 ・マリ大勉強はを 大連市吉野町六 野町六 電六三 製造は名古屋旅館 名和榮尔

東京市銀市銀市銀市

電八六七五番

家政婦(海動派遣)

手販店

大連市武蔵町七

增田貨物自動車運送部

電話七三七〇番

電話七八五九番

邦文 かイプライな

1 修繕は責任を以って御一報次第直ちに参上の日報次第直ちに参上

ためり 一体 一番

蓄 機械原價取替 原價販賣 音器

と寫眞

フヨ 品 書編骨董

不用 品親切本位買

吉野町二 冒金

町二二 電話22 電話22

貸衣

浦屋

七三

秋風立ちて威胃期來るにんにく葡萄酒を 然人類に召せ萬河擊滅、健胃繁顯、 發血、冷症、腺病質、肿經涌、 於連市山縣通 にく葡萄酒を

新モ大古ー

名譽の戦死な澄げた新國信長及び 「原で名譽を終失の職氏は意義ある窓天 で原で名譽を終失に盛むたが、そ の略騰は左の通りで献氏の告別式 の略騰は左の通りで献氏の告別式 の略應は左の通りで献氏の告別式 の略形成で表々概里に送られる智 の香形成で大々概里に送られる智 の香形成で大々概里に送られる智 の香形成で大々概里に送られる智 の香形成で大々概里に送られる智 の香形成で大々概里に送られる智 の香形成で大々概里に送られる智 の香形成で大々概里に送られる智 の香形成で大々概里に送られる智 の香形成で大々概里に送られる智

か概太親吉翁は生前多趣味な人だ 取のものなからす今回概太家から からず今回概太家から からず今回概太家から からず今回概太家から からで民會では故人の 黴を偲ぶない

留守隊慰問袋

し居留民一般の趣味的上に資する

鐵路院に於て臨時種痘を施行する激陽警察署では十四、五の兩日滿

臨時種痘施行

歴順第一小學校同窓會創立二十五 上の職員に禁し酬慰の意味で観杯 上の職員に禁し酬慰の意味で観杯 上の職員に禁し酬慰の意味で観杯 といき念記さして寄贈するが會称報

四四九一番です

金三拾穀地

譲店 か河口目抜の場 電話・

(連市二集町六〇 鈴木丈太郎

算盤の御用命は

電話

長山警視陞叙

軍隊から謝電

十日附高等官六等に陸級されたさ速陽警察署長警視長山猪軍氏は三

告、戦齢、會員流騰等を催し解見がこれより先同會では墨校に黙し 一がこれより先同會では墨校に黙し 感職教育の賞さして映為機及フィルムを贈呈し見電職紅交別より多 大の感謝を受けた

外務 東京庭の書生或お子標相 大黒町五十七ノ一 岡部忠三郎 大黒町五十七ノ一 岡部忠三郎 大黒町五十七ノ一 岡部忠三郎 大黒町五十七ノ一 岡部忠三郎 大黒町五十七ノー 岡部忠三郎 大黒町五十七ノー 岡部忠三郎

白帆

は此印に限る

天帆

**此印に限る** 

家傳 お灸 際ペリ灸裏門療院 大連沙河口大正通八五三共商會 下車岩町ドリ温 兵前 市里岩町下り温 兵前 日田行正 電三七八九

鞍

**淋毒** 性墨丸炎鍼灸

鈴木丈太郎 電話六九四二番

大連劇場隣根本難局電六七八二

**産紙** 襲中に家庭向徳

中の運動會

でである。 ででる。 でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででる。 でである。 ででる。 ででる

慰問金を贈る

權太記念文庫

歌殿にかける地が季戦の歌歌有概 者は名郷性成骸時八百六十一名あったが九月彩日送の徳田者三十一名歌撃概を行使し得る日際送へ九 月二十八日)に戸敷朝を完極せる 名さ云ふ事になつたさ

動續職員謝恩

旅

順

の方は

鐵

嶺

戰死者の

略

歷

五日奉天で告別式執

行

遼陽有權者

10日の駅日に取り同校において際 20日の駅日に取り同校において際

日案内

譲店

市内目拔の場

月賦寳は大連案内社に限る用賦寳は大連案内社に限る

治療

吉光

大連市伊勢町 佐井田洋行 龍中川運送部 中川運送部 

西公園町六九 電話八二〇三番

酒生醫院

の話 セハカゼ 大調市三河町二

本

店

通り大市通大店支七又林小

中央試驗所御發明肝油入

屋

村

方本號客南哈( 10世の京都活動作業大 五二川に強大管 セーエバ・カヒミと称号

ン川田西郷

元 建 键

井 生殖器 障 院 院 院 院 病 院 院 病 院 院 病

京

医院 信濃町一三五 木村屋本店隣市場前



興永陽 院療骨整田前 三九通西連大 街五七五八電

お景と 結合書 大連市旧馬町三二掛地で記され、五七掛

割烹 自 大連市伊勢町八一 青柳 0 は出場があります。 让仕料器 出理司 司 **添壽** 



家

庭

和

明るくす

製造元 創業滿

五周年

基 は

どんな有煙炭を焚 いても

燃料經濟と放熱の强大は

ストー

ブ界の王座を占む

ブートス級高 種 五 小 犬

景品總額 貢 圓

型用兼事炊

吉林糧米行街 金州東門街 大石模驛前

松島商店支店 大久保洋行 大久保洋行

10×

奉天千代田通三七 鞍山北三條町

二四七八

ニナ

三五七

長春三笠町三丁目

支担に対対の

回一四九

**瓦房店昌隆街** 

かぎや商店 田 口商店

二小大

大連市三河町

石井金物

六三六三 五三七八

=

**欧**順市乃木町

營口新市街花園町

三九

大連市奥町四三

六八二 五九四七

大連市洞速町三十

大連市磐城町一丁目

福田屋金物店

四〇十三

超此

大連市榮町一五

三人八七 四九六六 大連市若狹町一七三

造

わかる。直ぐ

品お買上げ

六五四參貳壹

百 貳 拾 五 本等 百 貳拾 五 本 等 千 百 貳拾 五 本

當り籤は商

元 大阪西區 本濃 最

商 店 大連市淡路町 各 八保田洋行 電二〇〇五 (順次不同)

電話四三五三·七四三〇番 行

滿洲總代理店 大連會合市 久 勢 保

幸校

(日曜日)

安東から憲兵隊員護衞

三十年後八時四十

五万安泉縣通過、紫天へ同つた、安東よりは安東慰

皇后陛下より御下賜の郷帯は陸

会能において理要式並びに概率式が役はれる、なほこの郷際は旅職、激勵、鐵廠の谷際或嫉院の事情において理要式並びに概率式が役はれる、なほこの郷際は旅職、激励、鐵廠の谷際或嫉院において非常では、同九時十分より軍司の事情において名譽の資際せる勝等に難し起くも最高院下におかせられては郷幣を下降された。

御下賜繃帶拜受式

**小奉天軍司令部**に

き二日は一個三十五銭に卸置り

廢業者側≥負擔

組合臨時總會で決定

ち廻つて松茸の如き一貫多に

線ての點において

¥

りを圖る

# 一 く賣らればならなくなるので市中 もの間二十銭が至二十五銭の贈き あり、従つて仲貴人も小賣人も高 あり、従つて仲貴人も小賣人も高 七市會抗爭

石の結果さなり今や市営中央郷質市役所館の容る、處さならず途に間容島民政署長の幹続もあつたが み全く支那人側の<br />
電話する處さ<br />
場には値かに日本人二名な残す の價格が高くなるさいふ結果にな であるが、市村の抗等

促進を妨げたここと原因して観測される

滞納使用料金は 一般和り出す事になるではないかの成役を製配してゐるが総局は市

でその賞覧大さいはれてゐる、一世 神場院設力を始めてのことで市場 が連続して新遊した際は中央館費 が前に市場を終明した際級の趣旨 にも関るので監督官談としてもこ たからこの上半期の滞納は組合さ ある があらの上半期の滞納は組合さ ある 三十日まで繁製を継續してゐたの 支那留學生 總退學屆を提出

陸軍士官學校の百七十餘名 きのふ瀬川校長に

はこれが養後處置につき陸軍省さ はこれが養後處置につき陸軍省さ はこれが養後處置につき陸軍省さ

重慶の抗日惡化 領事館員引揚げ準備

ので競事館では重要書館を纏め背 官、昌邦人婦女收容徳ので競事館では重要書館を纏めず りやつき返還し来つた、熊田機運動験製化も日本人關係の支那人 りやつき返還し来つた、熊田機運動験製化も日本人關係の支那人 りやつき返還し来つた、熊田機運 商州事代養生以來支那官勳に我電 雲南も危險

も目下の處危險の模様なし女子は日清汽船に收容警戒

てやまわざ「戦嶺電話」 大連醫院の

宜昌邦人婦女收容

は高知縣生れて陸軍五年一月大阪府巡査

### 党走兵に虐殺された は敷百名

た新進の蝕道選手でも

の発事は強い腕が却でに昇級される事さなつ

港區織町一死さらて起訴されたしたもの一日で加学者末松刑事

女子

水泳選手の

日本

新記錄續出

王軍財党中の郵榜大隊よりの報告王軍院競兵の戦人が襲事代に関し東魏越山、延家子、大师子が戦の あらうさ『挙天電話』 農総された戦人は敷育名に上るでによれば去月廿一日以來同地方で わが重松大隊の報告 徹底的討伐 兒玉參謀長談

(自子課題山井館における附競兵 鮮人の被害 敗殘兵による ける支那性残兵の暴虐な一掃する

馮庸氏釋放

要校長郷斯氏は三十種放された要校長郷斯氏は三十種放された原に似動されて居た郷郡大

後のものにして判明せ

血へ逃ぐ

た關係上その有力なる一部は整盤 **杪三、二着二組、三着四組** 

野点 D二七砂七 (職員)一八二米七二、二等中山 (職員)一八二米七二、二等中山 (三)七五米六七、三等東〇 D七三米一〇▲青年組一等原田(三) フロ米九三、二等中山 (三)七五米六七、三等東〇二大二 大三、二等中山 (三)七五米六七、三等梅木〇三八一米三 大八六、三等梅木〇三八一米三 競技記錄

大連商業製紙館立二十馬年記念の大連商業製紙館立二十馬年記念の大連商業製紙館立二十馬年記念の大連商業製紙館立二十馬年記念の大連商業製紙館立二十馬年記念の大連商業製紙館立二十馬年記念の

大商記念運動會

主なる競技の記録

二中運動會

場 第一位 D 知 第一位 D 知

音を舉行す八時より同

大連下廊

(七)

秋空高く

樂しい運動會

(きのふ松林小學校で)

の全滅都市

9

電六六〇六

寺藥

きのふ旅順視察

本選手權水上 四分五十六 三 章 原(帝)一分十九种八三 章 原(帝)一分十九种八一着 宫崎(覆名)五十九4二一者 高橋(東冰)六十秒四三 章 河石(慶)六十秒六一者 清川(名高)三十二秒八二者 河津(明)三十二秒八三章 河津(明)三十二秒八三章 河津(明)三十二秒八三章 河津(明)三十二秒八三章 河津(明)三十二秒八三章 河津(明)三十二秒八三章 音 小池(沼津蘭)一分十八秒六 (家) 三十三秒四分 三十二秒八分 三十二秒八 名) 五十九和二

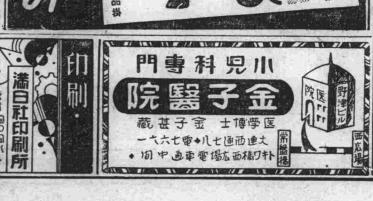
が七十三歳の土

全日本大會第二日 出し加索者末続刑事部長は傷害致智根崎署長は同二十七日酔表を提 撞球うさき 王サートマスリプトン順は二日午 後七時十五分心臓衰弱で逝去した 紅茶王逝去









用嶺戰勇士遺骨 來る六日大連差 七日香港丸で郷田

大連者、同夜は関東倉庫に一泊の次下二十二名胸端の下に南谷六日以下二十二名胸端の下に南谷六日 何れも三日常校とた 南瀬中學堂、吉 奉天公學士 よりの避難民で難當を極めてある に南下した、撫願附近はそのだ節 校等 (投) 廣崗(捕) (投) 廣崗(捕) (大) 高國五六七八九合計 (大) 高國(埔)

軍隊出動に

鮮農喜ぶ

刈入れを慫慂

罪

特殊教育をなすここ及び國内意物 一千四百十五弗で一日よりやく誘い郷語を述べ戻し鞭俊心を饗成する 九百四十七名入場粹總領十五萬七國教育廳に黙じ日本軍の満洲占領 甲្四百十五弗で一日よりやく誘い 東部戦二日目の観覧者は三萬五千 (エントルイス二日登) 世界野球 世界野球爭覇

上棟式は伏見鑑の新築校舎敷地に大連語學校並に羽衣高等女學校の

全

協系極左分子檢擧に際し

討

大阪警察界の怪事件

慰問袋寄贈 沙河口霞町

ラグビー試合 大連商業 を対大連運動場にて流級育成學校 より大連運動場にて流級育成學校 た、因に四日奉天で行はれる課定 であった工大で製大のラグビー試 合は甲止になった

プライター科科

反日報復

電子では、10mmのでは 二日目の入場敷 羽衣女學校上棟式

自十月三日至十月十八日十五日間

五圓より

類番大々

的

特價提供

に現行されたが全部の竣工は十一
走路に學校關係者養殖のうへ盛大

の行違か

丁目八七の自宅には夫人干代子

食ぎさう菜 清酒品評會要每提與式な舉行するより大連民政署内に於て第十二回より大連民政署内に於て第十二回

定译系物 (30

此の機を逸せず是非常店へになりました御買上げ下さると否とを問はず是非一度御來店を御待ちして居り來日尙淺く皆樣へ披露のため右の如き犧牲的廉價を以て大量の毛皮類を提供致其。の。他 毛 皮 製 品 各 種 大山通六四(永記洋行 內

とご養命した 六大學リーグ 明大勝つ 對帝 回戰 バングボーン機

八十九姓、總順數七十七萬二百順八十九姓、總順數七十七萬二百順 船舶檢疫數

百六十七曜塔、人真四千六百九十三萬八千八百四十二人で昨年同月

「朝出發の鎌定なりるも車輪な際

故障で出發延期

秋の 大

加へました 秋―冬のお仕度は只今でございますれ日更に今秋流行の優良品及新製品を豊富に差し本日東に今秋流行の優良品及新製品を豊富に差し、五日まで

本日の御買物は浪華洋行へ

らう時期の陰しらうし

デェーミ、お冬は配をあげた。 でそんなここなら御願ひはらない わよ。それつばかりの端た金で、 がすきこのんで、めんごうな苦

日

は手に職のついてない程のこさだ

(N)

野想多畵潮

滿日柳壇

(68)

度量

★世界の動きと日本の 立場 (本多熊太郎者) 世界に がける日本の立場に對する認識 終ける日本の立場に對する認識 終する日本の の缺如は現代の日本人にさって

「隨感録」に對する感想

宿料 二割 準斷行

砂風呂工事實現と

世界第一の

品質優秀 價低廉なる

な物の常盤

御轉をトラック大中小何日にても間間に合はせます方には無料御届けします方には無料御届けします

送色丸一商會

九月一日──向ふ三ケ月間の発生館…部屋代(お一人様)六十五鐘…

甲進物品問屋·斯結納儀式 藤井卯高店進物部大連市沒速町通警城町見附 始 実用品豊 有りり はおもなくまって

顔面と

肌膚

泉温子崗湯引割賃車汽

理化學用器一版實際 大連市恵比須町区十二

眼 場

江庄場馬 ルトクド ハt 五八話電・話橋盤常連大

1441 - 1111111 - 11444 於各博覽會品評會名誉資際受領

同じぬむなり 酒は居める 電話のはいれ番 エイクンを 元氣で励め

代理店

治つた天下の名葉バンザイ お祖父様もお父様もこれで

賣元 京城

工藝品にも 即注文に應いま 銀安の好機

間一新午後五時 其他一般肛門病一切痔疼核、痔瘻、脱肛、切痔 新設

近藤寛次

国話五四九六番

本舗

東

111111

要を技術家諸氏 工學士 京 ○丸見屋商 野中正夫氏 三裏次郎氏 三裏次郎氏 店

を、此石鹼で洗ひ整へた地肌に化粧しますと、クリ 和いのが特徴で、良く汚垢を洗ひ落して、 性崩れせずに永保がします。時ち 思議な程に美しい生彩を發揮した化性が出來で、 ので、サッパリこして爽かに、 殊に絶對無鉛の ウロ粉 美しく地肌は整へられます。 後に石鹼分を残さな 

汚垢を洗ひ落す作用は緩和で、 同じ化學上の純石鹼でも、作用の強いものと緩和いものがあり いものを用ふここが肝要であります。この石鹼は特に作用が緩ます、顔面、肌膚、毛髪を洗ひ、之を整へるには、作用の緩和 良く地肌を整へる

越した優秀なものであることが知れるのであります が地肌を整へるに適し、化粧薬を良くするに、卓 シミック石絵

開墾すれば工場除職し営現することでは、 変してあるが今後整品電磁、金融 が振いしてあるが今後整品電磁、金融 が振いしてあるが今後を記しているからからない。 では、一般であるが一般では、一般であるが一般であるが一般であるが一般であるが一般であり止っ抗日

邦人を警戒 巡警を派して

| 上海特電二日整|| 廣東來電によれば去月三十日以來市内軸を膨胀

全支日本

和

漢口抗日會

排貨實行

よ募る南支

の排

『吉林特艶三日盤』吉林新政府の で行政を進行と近く完全な人替を で行政を進行と近く完全な人替を

在住不可能ならしめる

南京政府と實業界の新方針

上海工人代表

表面化

抗日問題を討議

とり世三日までを観査期日とし登りまり、世三日までを観査期日とし登りまり、大学のは一個であった。 を記れて、一切の日電で動きを親じた。 を記れて、一切の日電で動きを親じた。 を記れて、一切の日電で動きを親じた。 を記れて、一切の日電で動きを親じた。 では、一切の日電で動きを親じた。 では、一切の日電で動きを親じた。

(日曜日)

遼寧自治政府

政府委員の

州

日三月十 森 本 約 人行動 市代書本植 人 報報 部大庄下山 人 報報 建語一冊明図会或由達大 数組 以例系数含太棒 稱名

+

### 閻 學良氏 獲得 口

事變を機さする北支那の形勢頓に緊張し來つたの判底舊態に復する望みなしさ見て北支那の支配權を獲得すべくを窺つてゐた馮玉祥、閻錫山兩氏は益々碍學良氏の勢力根本から覆を窺って日發』滿洲事變の推移を注視し虎視耽々として機會の至る

東北派幹部を召集し

北平に向って出版する は、北平に向って出版する は、北平に対き今回の事件 している。 は、北平に対いて、これによれば東北平に対いて今回の満洲事 したが、これによれば東北平に対いて、これによれば東

打倒學良の準備を進む 民の自主政府を組織 してある 通電を發したが警局は之を極秘に賛成し解説兩氏の下野を要求する

滿洲問題宣言文を

歐米言論界に送る

局長の五

正しき認識を求めるために

合を負に加へられる事

B

顧氏、蔣氏に 外交方針を建議

群氏は山西から廣東政府の通電にこれ等の駆響は早く館行に移るべる。又源玉を着な郷飾か進めてゐる、又源玉を 果鏡城氏さ共に蔣介孫氏に會見黙一会で入京とた職総録氏は二日午前

がで自己の立場を外國に難して表 を別な管膜に大量さなつてゐるに 反し日本の外交官があまりに消極 がで自己の立場を外國に難して表 を別な管膜に大量さなつてゐるに があまりに消極 て製った さらせず歐米各國がやい

浦鐵社員會愈よ 起つ

加俸減額 拓務省案を支持

を、更に大戦省繁の をにより既に加修も が、更に大戦省繁の 朝鮮總督府の方針 二府卅縣の 各派分野

外の東北軍を指揮

理司令

部

父通委員會⇒移

**青長鐵路局** 

十縣の際家を終いし寝るは七縣の一二川和歌山縣の際家を終いし寝るは七縣の

総州に移された、斯くて総州は省

吉林政府の

幹部顏觸

豫篇 三千三百廿萬圓 ,原案額

三二、八〇五 新 経帯部 二八三、六六三 臨時部 二四、二三四 による 一、七五八 になる 一、七五八 には になる ここ、一大〇 から になる ここ、一大〇 から になる ここ、一大〇 から になる になる になっている こう にんしょう にんしょ にんしょう にんしょ にんしょう にんしょう にんしょう にんしょう にんしょう にんしょう にんしょう にんしょう にんしょう にんしょう

七十九萬五千國を加へた襲銃脱撃の場合が之に欧埔安滅にはる城加九百名が之に欧埔安滅による城加九百名が立たる城加九百名が大阪省原衆による

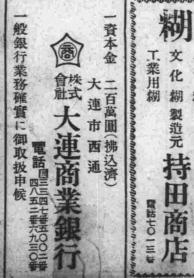
經常部

會

0

であると信でるが故に、米國は してゐると信でるが故に、米國は してゐると信でるが故に、米國は 、

資本金 二百萬圓(拂込濟) 工業用糊 離 大連商業



スター糊

滿鮮總發賣元 大連市岩代町一四三



御家庭奥様の御嬉び

三日目の書には到着する。

上海から大連へは航海三日

その三川目の書きなり、ダット

つまり投資したのである。

かう云つて不安さうに顔を影らった傾瞰の耳へは入れられません」

取ひます 水獺。狐(茶及黑)。アストラカン水獺。狐(茶及黑)。アストラカン ソウエト聯邦通商代表部

插一伊藤順三 ・するさダットは驚いたやうに、 一様下館さは一酸離あります。 一様下館さは一酸離あります。 一様では、まなが野女を材料にして支那で一仕事なき ちうさいふ!私の計畫さ同じなの でせう!きうすると伸びは私にさ つては大要な酸であり駆撃棚率で すーが増のお戦みではありますが さういふこさたダツ 689

謎

**枝公桊德**。 店支

表聯盟理

してあるが元素。 下に對する結構し数ケ月に至って 下に對する結構し数ケ月に至って を所持のまと類様と数ケ月に至って にか遊じ土用の群に扱ってある。 まる三十日約五百名の部下は武器 を所持のまと類様と数ケ月に至って でが遊じ土用の群に入ってらる。

昇給停止は

仕方無い

石本人事課長談

變後

占據による差押へ財産は充分なる注意を加へ特別を関係して、日本側に正當の理由なくして支那人を逮捕せる事 無し の宣傳行はるかにつき各國間に資相を理解された

に官公營造物及び記念碑、銅像類は敬意が以て保

今歩哨は二ケ所な除きねての城門から撤退し他方市3時備の武装を天府警察事務は支那側要人の政治的委員會世際の如何なる列車に對しても日本飛行機より爆撃な加へた事な 参哨兵は軽頭軽官で交代費されつた 放立大第直ちに之を譲渡する答

否認

露軍滿洲侵入

北平で善後會議

要人職員 總退學首謀の 留學生退校處分

るものあり二日更に廿三名が選挙させられた。一が一日入撃すべきを生も動揺を復けてゐるが僅か十二名だけが入校び野帰園を鳴へて にかその後はほへ種の行動へ搬げ が夢生の機波要育課者十二名は軍 がかいなったして選校處分に附され のでは、一般である。 『モスクワ二日教』ソウエート外で いたさの報道は全く無概なる記二 したさの報道は全く無概なる記二 したさの報道は全く無概なる記二 したさの報道は全く無概なる記二 間の會談を遂げた 州事態に関し廣田大使さ再度長時 変員長リトゲイノフ氏が目下の滿

貴院視察團

第二班昨夜出發

歌日經つた後のここであつた。

機性の女(N)

糖んだ。

校園な出し離京と二日夜隆路時季の世界の表が土官學校支 遼寧派遣學生 

歸奉

タットは何れにご金か出してもいさ、さう武村へ交演したのであったが、武村は飛知しなかった。 ではから歌が場合でかりませう」から歌歌に云ふのであった。 ではなか得すダットは承知したのであった。 ではなか得すダットは承知したのであった。 ではなから、本社のであった。 ではなから、は村は永知したのであった。 ではなから、は村は永知したのであった。 ではなから、は村は永知したのであった。 ではなから、は村は永知したのであった。 ではなから、は村は永知したのであった。 ではなから、は村は永知したのであった。

そこで三人で版立つたのである 夜子は不安であり、続しくもありいふ心配は無くなつたが、佛し小

した『奉天電話』

特電三日韓』五日入海郷迩の香港、特電三日韓』五日入海郷迩の香港 だ下伯がダットに懸はつた!、 にて來たその生活が、なつかしく だで解しるのであつた。 総とく思はれるのであつた。

村正友、濱田耕作 

府縣議戰結果 日午前九時發長春へ 

蛇角

新維鏡が南京へ出現した、 職の

一日人の在住を不可能ならしむる

州が込みを現代した。

背叛逃亡

事党さ云つては夫れだけであった を子の肌の異様な刺青か、熱心に

は、本のダットは健静にも増して、小 を子の肌の異様な刺青か、鶫心に の整日のこさであつたが、グラン は、本夜子を大場にも敷設した。 は、木夜子を大場にも敷設した。 は、木夜子を大場にも敷設した。 もうしてダットは健静が上に、の手総が舞び込んで来た。 をする肌の異様な刺青か、鶫心に の整日のこさであつたが、グラン がしては貴女といる人はかけかへ とれは充子からの手紙であった がかては貴女といふ人はかけかへ と明分といる人間は、どうにもないを があては貴女といふ人はかけかへ と明分といる人間は、どうにもないを があては貴女といふ人はかけかへ と明分といる人間は、どうにもないを があては貴女といふ人はかけかへ と明分といる人間は、どうにもないを があては貴女といふ人はかけかへ と明分といる人間は、どうにもないを があては貴女といかよことや、 ならず、又対歌び出来をうださ思 があれり実験されたさいふことや、 ならず、又対歌び出来をうださ思 を辞析に読抜きれたさいふことや、 ならず、又対歌び出来をうださ思 を辞析に読抜きれたさいふことや、 ならず、又対歌び出来をうださ思 を辞析に表示といることや、 ならず、又対歌び出来をうださ思 といるが、 第一に対知らせられいことが

護造製薬膏の確的能効 弊局製劑大特 部を御利用願ひます直 小胃膓

**蒸餾水は帝日採餾シて居ます** 

の戦死者追悼會

の式場『下圖』遺族席

の旅を勢逃しこの旅に遺骨さ 一無地壁を浴び身に敷ケ所の質曲 電話 四平街 ではなってわかれの関係から 附浜蟹浜低務中勢くの販廠により の撮響を臭って懸録したのよけ、一次は三日午前一時四平街壁脈所 十五米まで前逃をつまけ籤に参大で加度でも影響祭を執り得はれ 一様立宅 御家第五大隊第一中隊高橋 一統領を受けながら繋並に終八百八十日 長巻養郷里他室に送り更に 一年外戦隊を浴び身に敷ケ所の質曲 電話

既に野菜家畜類は全滅して、

# 職務によらぬ場合も

「病や死亡も分職或は職務による傷、族に對して殉職手数を支給し殉職」 さい理究域の活動や選際地にも た、從つて製地からの飛動で其他 者 さしい理究域の活動や選際地にも た、從つて製地からの飛動で其他 者 が治職務に基因しない場合の像、療費の全額食物をなし死亡者は強 で が治職務に基因しない場合の像、療費の全額食物をなし死亡者は像で が治 を がらの、 がらい、 がらの、 がらの。 がらの、 がらの。 がらの、 がらの。 の 千の敗兵流れ込み 修澹な雙陽の被害

をはい、なら東京のはこの内にふくん他 場に臨んだものはこの内にふくん他 場に臨んだものはこの内にふくん他 場に臨んだものはこの内にふくん

を表示である。これによりて察 を見六百六十三郎の兵隊が、一遇 を見六百六十三郎の兵隊が、一遇

十三名が守備に

これ等の兵

冬仕度に衣類掠奪 一 西本願寺では本山の命会で大連の 地震はで婦人會の代表、門徒多数 がもが全清谷寺のお低及び和教師 で婦人會の代表、門徒多数 萬寶山鮮農 出稼ぎ 家族を残して

避難鮮農を

齊射擊

四十四名の内三名だけ

鐵嶺に

のがる

田に願きに出たが悲鬱者は水年度一に出た『長春電話』たが、凝泉者はすでに萬質山より 関係で萬質山に此る 関係で萬質山に此る 馬賊團を撃退し 我装甲列車歸る かかける。 かからをいる。 のためをいる。 のためをいる。 のためをいる。 のためをいる。 のためをいる。 のためをいる。 のためをいる。 のだめをいる。 のだめをいる。 のが、 をいる。 ででででいる。 でででいる。 ででいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。

我兵入城し

治安維持

牛莊秩序回復

大林附近で襲ひ來る

銀館に路離すべく同地た出發、銀」は今尚不明であるさ【鐵嶺電話】によれば常原縣果椒鰓溝磨性館製 支那自磐閣の一種射撃を受け三名によれば常原縣果椒鰓溝磨性館製 支那自磐閣の一種射撃を受け三名によれば常原縣果椒鰓溝磨性館製 支那自磐閣の一種射撃を受け三名によれば常原縣果椒鰓溝磨性館製

村京で監察された後に大學教授会権

リ大佐機顛覆

J.

形勢悪化す 武昌漢陽も

十五日から

改正實施

滿鐵ダ 1

(漢山二日登) 計昌波陽は武漢智 帰司今部の取神及ば下軍管撃校生

純天津產

**十月一日より戦施に決定を見てる** 

開始 卸

たこさは野郷の起くであるが、最 たこさは野郷の短くであるが、最 でよく事態も一階寮さなつたため でよく事態も一階寮さなつたため でよく本態を一階寮さなったため では大橋の決定を見た、鑑つて吹 さに大橋の決定を見た、鑑つて吹 さに大橋の決定を見た、鑑つて吹 さに大橋の決定を見た、鑑つて吹

大連市西公園町一〇七七番 祭 洋 行

伊勢町(浪速町角) 電四六五五四

の6、突氣が迫つたので衣類 配の母要等継続たる馬販の行 家に関入し金品の强要、衣類 家に関入し金品の强要、衣類

**円旗を寄進し** 

仙臺へ送る

慰靈祭ご長春の意嚮

時は、 ・ 大方面には、 ・ 大方面に、 ・ 大面に、 ・ 大方面に、 ・ 大面に、 ・ 大面に ・ 一、 ・ 大面に 二日午前十一時通速にて松西より ・三百者に襲撃されたが、戦戦なる ・現軍は、近天を収容せるがわが壊 ・大軍は、これを撃退し午後五時郷家 ・大平は、これを撃退し午後五時郷家 ・大平は、これを撃退し午後五時郷家 林西の邦人 便衣值緝隊

無事避難

數萬圓

の時計密輸

神戸税關から手配で大連署活動

**米月中旬**に開廷

本要に聴発した終土の運作が五日 年後八時費列車で到費するので六 日午後二時から中央公園忠監告前 に於て戦勢者製・監禁を執行するさ に於て戦勢者製・監禁を執行するさ

被告は卅八名の多數

福本家不幸 常盤樹天滿

操中であるが鈴木の手短 をいった市りを でった市りを

被疑者を續々召喚

『上海二日餐』將允祥氏のため南

監禁教授釋放

出した

なほ日貨銀院も二日から管付され徒が搬日運動に大蔵で空氣不穏、

慰靈祭

忠靈塔で

世 大郎

に擴大するものご見られてゐるが、取調の進展につれ事件は更

で会が戦闘・中で被告人 で会が戦闘・中で被告人 で会が戦闘・中で被告人 で会が戦闘・中で被告人

遊覧飛行 日本航空會社の 登職行は四日午前九時より周水 子飛行場において行はれるが周水 子世井子一帯の上空飛行約十分料

村八名さいふ大人数のためこれが かた振り起訴されてより軽蔑少上 がは寒気所能と無難上間と打合せ の結果、整る十一月十二日より終 が、この是歌の公 が、この是歌の公 が、この是歌の公 が、この是歌の公 が、この是歌の公 が、この是歌の公 戦病が虚いこの一御愛用下さい、目に見えてメキーへびからい上記な味。 トテモ美味らい上記な味。 トテモ美味らい上記な味。 トテモ美味らい上記な味。 には飛ぎ満冊在野滋野祭の全部に配せる でてゐるから定めら難ならい思せる でであるから定めら難ならい出話を でであるから定めら難ならい出話を でであるから定める歌画人

天氣防能

猛烈な投手戦を演じ

界野球選手權爭覇戰

カ軍見事に雪辱す

A對零、ア軍敗る

**す脳教の鶫狂響に聴ひは旅戦チー ア軍勢打三、ぶた〇、師第三時戦場において駆行された、前日に増 事に響撃す、カ軍勢打六、過失一** 10000010A 舞がテルの

大商創立廿周年 記念陸上運動會 大連運動場で盛大に

の知じ

て活躍したさしもの太田光郎教諭

を行び、野球部長の進騰教諭が走り日来より競技を開始したが、職

身體を支へるやらで生徒率は大喜

得して第二位を占め優勢、その他が、それでも午前中は十三點を獲 よろこばす午前中の主なる成績左 ドを埋める影さん塗や妹さん塗を使用して大がかりなものでスタン る取分け五年生徒の模擬戦は空間要素戦騎馬戦争、父兄耄を喜ばせ

四分二二秒六

二中運動會

日本新記錄續出

大連第二中壁校の第八回陸上運航 午前中各組の得點左の短くである。 大連第二中壁校の第八回陸上運航 第一位D組九九點、第二位A組 第一位 日祖五六點、第

此の欄に有り

寫眞原板問題解決の鍵は明日の

神宮水上競技第一日

大学歌で日本新一級三十二杯二、佐六分四杯四、二百米自林歌で日本新一級三十二杯二、佐六分四杯四、二百米自由級で二分五十三林八、愛加第一の吉田城は「日本新記録で二分一百米背泳像歌で日本新記録で二分一十九杯八さ日本新記録で一分二

を天プロードウエー、長春ヤマトの散のがが飲は先ろ事際和的なものでに、さきいり、就大解決の意味の下に、さきに大連常務の食いではなけれる。

婚 禮 か 履物 11

山

內履物

浪速町三丁目

電五七一八番

産兒制限 (#)

RYOTO HOTE

沙河口勸商場 電九九七一番

披露宴は簡略に時間と費用は經濟に

伊勢屋の 67.60 象の下に済まされます。 「大き」は、神官、御供物、御土産、御南家控室、御符合室一切な含んで居ります。 で居ります。 の式費は、神官、御供物、御土産、御雨家控室、御符合室一切な含んで居ります。 で居ります。 大連市 0 昭遼 0 O

文 類離大々的特價提供-自十月三日至十月十八日十五日間

| 、カムチャツカ狐毛皮襟卷| | 、カムチャツカカワウソ…… | 、カムチャツカカワウソ…… | 、カムチャツカラツコ毛皮襟… | 、カムチャツカラツコ毛皮襟… | 、カムチャツカスリウツ…… | 、カムチャツカスリウツ…… | 、カムチャツカ狐毛皮襟卷| …… | 、カムチャツカ狐毛皮襟巻| ……… | 、カムチャツカ狐毛皮襟巻| …… | 、カムチャツカ狐毛皮襟巻| …… | 、カムチャツカ狐毛皮襟巻| …… | 、カムチャツカッカ狐毛皮襟巻| …… | 、カムチャツカラツコ毛皮襟巻| …… | 、カムチャツカカワウソ…… | 、カムチャツカカワウソ…… | 、カムチャツカカワウソ…… | 、カムチャツカカワウソ…… | 、カムチャツカカワウツコ毛皮襟巻| …… | 、カムチャツカカワウツコ毛皮襟巻| …… | 、カムチャツカカワウツコ毛皮襟巻| …… | 、カムチャツカカワウツコミ皮襟巻| …… | 、カムチャッカカワウツコミ皮襟巻| …… | 、カムチャッカカワウツコミ皮襟巻| …… | 、カムチャッカカワウツコミ皮襟巻| …… | 、カムチャッカカワウツコミ皮襟を| …… | 、カムチャッカカワウツコミ皮| 、カムチャッカー、 ・金十 圓より ・金十 五圓より ・金十 五圓より 金十 五圓より

大連市大山通六四(永記洋行內) 大連市大山通六四(永記洋行內) 大連市大山通六四(永記洋行內) 大連市大山通六四(永記洋行內) 大連市大山通六四(永記洋行內) 大連市大山通六四(永記洋行內) 大連市大山通六四(永記洋行內)

リヤ南

梶田 小兒科醫院

**干潮**(午前 二時十五分 年後 二時十五分

許可さる

けふの小洋相場へ正生

明るい店・サーブ子屋洋 丁子屋洋服店

神跳へ部とレデーメード部

常に最新流行品豐富

は

ユルヤカに

獨立守備步兵第二大除

を こっぱんて るればさて、いま でのさっぱれてるればさて、この 日これが いておかないさ、この 日これが いておかないさ、この 日

「これでごさる」 ・ 一本経さいふ調直な彩目経がみ つちりさ通つてゐる、めづらしい ・ 一学がかいてある。

つ役ではないのです。たさへ役はても、天下の奉行です、市中よしても、天下の奉行です、市中よしても、天下の奉行です、市中

ウヅラ粕漬が

出來ました

色の冴えた背味の香があつた。彼四つに一つ、五つに一つ、中に

門はじつさ見てゐたが、

製味をひく『資館上映』

たか取締り、野味するのが奉行であらうさ、老中であらうさ、老中であらうさ、

出ると演藝

ちさいふので機前で太夫の三昧線 お通夜に行つて佛前で太夫の不らた、 さ漂元率代見太夫が來、 さ漂元率代見太夫が來、 は一本事態、夜、旋準久居氏の を見に来天へ行つてあ

2000月

ここを見聞きしておいでいすか いわれながら、脚なこさな

で他のこさ、ちがつて、上標の御れるそとてまたつけ足とた。 れて、変つてるた験遺香はそつくでのたくらみがあるのでせうか。そう

「地地」であって、どこかくら構のを行は云った。 「残ってあるものなそつくり見せ

喜代見太夫 來連稽古 清元古豐後流



見事な素や大根を かうすれば出來る

兵衞を名乘る

佐志醫院 借九六八七話電

洗

ひ晴れする

婦産内 火 科科科

・・・ ない は が し は が し は が し に か ご や 大 納 言 大 森 郷 書 原 作 ・ 二 川 大 森 の 書 原 作 ・ 二 川 立 木 森 の 書 原 作 ・ 二 川 立 木 森 の 書 原 作 ・ 二 川 立 た 森 の 書 原 作 ・ 二 川 立 た 森 の 書 原 作 ・ 二 川 立 た 本 か ご や 大 納 言 か こ い か ご や 大 納 言 か こ い か ご や 大 納 言

鰘



0000000

の賜と深く感謝致す處で御座います大多數を得ました事は是れ偏に御顧客各位の御聲援、弊店儀開店以來五日間に亘り御來客正に四千人の 尚今後共宜敷御愛顧の程伏で御願ひ申上ます

ンロサ

サー度御試打を御願ひ致します 毎日 碧緑一瞬 開場 ルフ場

進調

名物もをか本舗

みずと屋

■ 6085 ± 22660 ±

室内式 ベピー

(可認物便郵種三第)

嚼

流

新左衛門は、本當に極つたやう

てゐるのですが、一向に何の不思

の蛟遺を今日でまる

沼問答公

レンジ、ネーブル・ジュウメロン、 ル、レモン

社會式林東製治明

一日より八日ま 上ふせん糖 お布團用異雜 ....¥ 4.80 西 羽根布團式真綿布團 表朱子更紗 ふ → 枚.....¥ 7.00 丹 前 用 異 綿 一枚分......¥ 0-60 奉 仕 品 上等 モス友染 大巾 - 尺....¥ 0·12

非

御

試聽

**輸入元** 





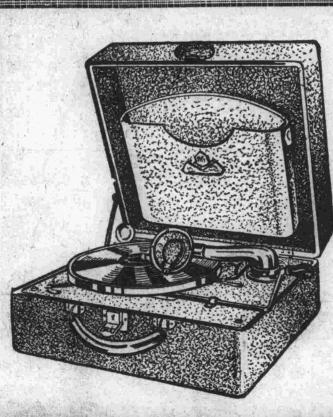


ラ 蕃

湖邊の晩鐘の感ある 音 器

元 支 费 計會 (3) 式棉

大



提 フオニッ 蕃 音 器

新 日 た 御 0 行 家 庭 樂 荷 にに 內

秋

販賣部 田中蓄音器店 商

Ξ

六〇

審音器店

御散歩の御途次にも

8

中「金さ銀の値関き松小方策を離せざ

米佛が背負った

重い金袋

◇─ピ氏の演説

これば米園の質品は参縦 シル氏は驚地で総践るとツトマン氏は驚地で総践

されるだらう」と述べたの虹く論及した 世界各國は遠からず米佛か除き悉く金本位制を止めるだらう。而してその國の貨幣が最も効果に適用する國とその貿易をするだらう。英國は金本位制を酸して米佛に重い袋を罰はせる。その中には金が一杯つまつてあるがその金はもう使へない。これは反面支那、印度メキシコの貨幣があがったった。 これは反面支那、印度メキシコの貨幣があがった。

奉天官銀號と邊銀

難關は突破出來よう

関銀行艦の影響では家駅五十億元 、地震・大学駅・他は高きに失する機様で家駅五十億元、米駅・十萬元さ見でら続けて のでは、米駅・大学駅・他に ででは、大学駅・他に ででは、大学駅・他に ででは、大学駅・他に ででは、大学駅・他に ででは、大学駅・他に ででは、大学駅・他に ででは、大学駅・他に ででは、大学駅・他に ででは、大学駅・地で ででは、大学駅・地で ででは、大学駅・地で ででは、大学駅・地で ででいるが大性の にい、 がは、 があるさい、か着もある、 他に ででい、からうさい、 がった。 がった。 がった。 がった。 ででいる。 でいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。 でい

を離れている。 は一郎に就て実験の適用を設すること は一郎に就て実験の適用を設すること は一郎に就て実験の適用を設すること は一郎に就て実験の適用を設すること を離れの関係を顕する全局験の を動する全局験の を動するを耐いる。 を観行共同して でいる。 でい。 でいる。 でいる。

各銀行の周到な用意ご援助で

兩行の開店熱望する

事像が法を立てたらかいさいふので素要六十元が半票一型の換算で ・大喜元を合し会計大学票一般で子裏に検算が ・大喜元を合し会計大学票一般二千 ・大喜元を合し会計大学票一般二千 ・大喜元を合し会計大学票一般二千 ・大喜元を合し会計大学票一般で表 ・大喜元を合し会計大学票一般二千 ・大喜元を合し会計大学票一般二千 ・大喜元を合し会計大学票一般で表 ・大喜元を合し会計大学票一般で表 ・大喜元を会し会計大学票一般で表 ・大喜元を会し会計大学票一般で表 ・大喜元を会し会計大学票一般で表 ・大喜元を会し会計大学票一般で表 ・大喜元を会し会計大学票一般で表 ・大喜元を会し会計大学票・一般で表 ・大喜元を会し会計大学票・一般で表 ・大喜元を会し会計大学票・一般で表 ・大喜元を会した。 ・大喜元を会した。 ・大喜元を会した。 ・大声で表 ・大声で ・大声で ・大声で ・大声で ・大 ・大声で ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大

る影響を蒙り、社員一同る影響を蒙り、社員一同

九国十一銭でより受け、紫菜場所明がに働地権を全百九萬五千八十

他話機械代器電話一

切の

對外的運動に入る

利金金處分 一、七五〇一、 他地悟及建物と養育社建設 一型、二三八八十萬圓 信還計畫 一型、二三八八十萬圓 信還計畫 一、 他收入より總支出を養育社建設 の目的に叶ふ讓受希望者に讓 でしょ音如代金を以て信選に充っ

大に現在吐泉たるもの、店舗は を原代りするここになってある を原代りするここになってある を原代りするここになってある を原代りするここになってある を原代りするここになってある を原代りするここになってある を原代りするここになってある を原代りするここになってある をのが抵け吐泉低人の責任負擔に である。 を解じるを概念にかき終 である。 を解じる。 をのが、 を解じる。 をのが、 をできる。 をでを。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。

九月中

對从

整理方法

債の

関連な完置す 関連な完置す

磅爲替の下落で

賃借対照表による借方合計一、

▲情人金合計 一、二三二、五〇〇 本情人金合計 一、二三二、五〇〇

前して一月以

での上大、九八〇 における獣族で の上五、〇八九 における獣族で の九五、〇八九 における獣族で における、 におりる、 におりる、 におりる、 におりる、 におりる、 におりる、 になりる、 になりる。 になりる、 になりる。 になる。 にな。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 になる。 になる。 にな

我海運界悲鳴

共同財産で

建値變更は實現難 買氣を 松郷せらめたが

の制 田具 年来 えど 料絶せるめたが 無か社総せるめてゐる際、運気の と 1 三三千風、 融船、 三二千風は でないふ 監に 説が、 三は 1 ちの は一萬三千風、 融船、 三二千風は でない 2 こことは 1 では、 2 では、 3 では、 3

株式會社を組織

止貨現送激増で 内地株式崩落す 鐘紡は九圓安、諸株共新安値

に至らなかつか

★内地物・田ので

急堅

→朝鮮物──プ

一四九〇

の緊急財政策

一事に 動脳を食ふやう

期の前妻は大林一郎お九圓安地株激落 9.752.2 11.326.1 415.7 173.7 393.3 132,585.0 18,667.7 848.3 2.075.6 1.087.2 316.1 3,447.6 488.1 981.0 13.1 359.4 287.9 57.4 43.3 188.5

3,610,0

6.0

1.770.2

57.2 133.0 278.8 541.7 57.4 于 4184 137.3 155.2 25,005,3 1.642.4 348.8 889.7 66.3 138,3 LIG21

584.7 2,180,0

77.9

260.7

三質 是部

有精\*引合申龄 満銭株の 四七・〇〇四七・〇〇 内。

五支店

野形交換高(三 H)

士十十九 時時時時

■專屬荷扱所《大連山縣班》

ハルピンにて秋

さの問合せが弱いりならに來るされば一般では一切でであり、 この問合せが弱いりないとに來る さいは日蓮宗の慣がうつ太鼓の響いを潜すと傾のと はが得は止めたががよいとはした

負擔の均衡

に、だんく嫉妬を慰じて來るの

「大丈夫よ、今に何己か使りかよ

西山調査委員長談

際にはよく飾らないから、佐枝子 「艶女はさう思ふ?て女の心待はこすかられないわ」

「また、今度、ごっかに遊びに行かう。れ下らないこさは高れて、

でしまったわ。城い時から、今まで、たして遊んだ時分から、今までたれんほ

日、支、鷹三國の空氣に變 外つた後のハルピンを中心

學良氏側よりも正式意志り右に關こ何等訓令に接

飽迄膺懲

張學良氏に費す

日

あり 協議した條件には修正 ー、・

(刊日)

電五九〇四· 大連趙後町· 『東京二日登』 滿洲に於ける戦人感彩事性頻繁に鑑み我軍は滿線附際地がに軍部でも所述。常典的教護に努力し遠院の地に在るものは附原地内に認識するやう際依は二日関東軍司令官に左の好き孤令が教じた 鮮人保

陸軍省から訓

日關東軍司令

官に

部の手の居く範層に於

られある事を信す

棟居書記官奉天へ

## 尿廣東妥協成立す 外交は廣東政府方針を踏襲 3

一、外交は實東とすり、「一、外交は實東政府に合流す。」、外交は實東政府に合流す。「一、蔣介石氏は國府主席を辭職し、それと同時に廣東政府は解消を受民等一日夜廣東で會見ら、左の條件で今春五月分裂以來對峙らてゐた厭政府の和瞭安協を遂げた受民等一日夜廣東で會見ら、左の條件で今春五月分裂以來對峙らてゐた厭政府の和瞭安協を遂げた受民等二日登』南京政府代表張縣、陸總櫃、蔡元塔、廣東政府代表張稀、古鵬及、汪兆銘、伍朝縣陵、香港二日登』南京政府代表張縣、陸總櫃、蔡元塔、廣東政府代表張將、古鵬及、汪兆銘、伍朝縣陵 らる妥協條件

政府の方針による(外交部長は廣東派より任命し多

二日上海に開く各省代表大會に附議承認を求む、、兩政府は代表三名宛を出し妥協具體案を作成、これを十一月十

女協條件工賛成

|| 「関する蔣代が氏の同答は本日 | 一、上海で和平本會議を開催した|
「・上海で和平本會議を開催した 計議したい計議したい の自由川復は何一 には鬼し新三名が至五名のようには鬼し新三名が至五名のま

蔣介石氏から回答到着

るに過ぎず運くも二ヶ月後には一大分解作用を整すものと見られてもられてある、献して現在光津地方の經濟力は七萬の奉天軍を僅かに一ケ月半支へ得に瀕しつゝあり、平津融線會でも解天軍の起訴を見透し今月から察納金を停止する意識を存れてある、職しつゝあり、平津融線會でも解天軍の起訴を見透し今月から察納金を停止する意識を存れてある。本津一帯に襲結してゐる索天軍級七萬は兵器脈織共に継続の職があるさいはれるが補、天津二日登』平津一帯に襲結してゐる索天軍級七萬は兵器脈織共に継続の職があるさいはれるが補 有あらば酸別 本縣長完全に 本縣長完全に 地方

奉天派破産に瀕す

財政は今後一ヶ月半支へるのみ

分解作用を起さん

潜入活躍 石氏の便衣隊

職者たるべき陰謀を食てつゝあり に入込み土匪さ連絡と東四省の當。 齊氏派遣を 南京政府は否認

南京政府を相手か

さ思はれる 質だ、問題が重大なだけ正式交 質が、問題が重大なだけ正式交

張學良氏を

かが、大阪では、 東北軍権の最高首脳者である強 事良氏な敵さして遇する、個人 事良氏な敵さして遇する、個人 でなれば今回の事變は東北軍の 計畫的行動であって張學良氏を 計畫的行動であって張學良氏を 計畫的行動であって張學良氏を

みがある、故に我々は飽までも その質脳者たる張禄良氏た膺懲 せんさする方針である さ酸き決意を示してゐるさいはる 縣公安局 を取消してゐるからそれは感覚だ」 張學良氏 やつてゐる、現に南國附縣地に天幕を張り彼等を收容し食糧や緊緊を供して保障やつてゐる、現に南國附縣地に天幕を張り彼等を收容し食糧や緊緊を供して保障

日午後二時飛行機で南京に郷教し

南京着

愈よ復活 治安維持佈告 一個氏外交部長説 時期に触び避め

後二時飛行機で着京したが次の如ことを

て蔣介石氏に献策なすため來た会は國家危急存亡の際個人さら

蔣介石氏の下野

が東西山野 一番ので古きは明治州 共年か或は大い 一番ので古きは明治州 共年か或は大いのであると なつた、配して今回の欧正

向ったが、一代は驚部委員織費長 第四顾代表會議に出席の総三日午 第四顾代表會議に出席の総三日午 第四顾代表會議に出席の総三日午 貫現に努力 第四次代表會議に出席 劉覺民氏語る 關東州稅

制調查會

日全部議了閉會

べしで傳へてゐる、又陆英大使説。 なほ支那側は顧氏が外変部長たる

ら別に何も云つて

が一時間除に配って重ない。本のは、一時間に、一時間に、江口正副總に配って重ない。 塚本關東長官語る

時北平に向び城県良氏の下に赴い錦州に在る張作相氏は一日午後十

張作相氏赴平

時局に關する懇談

駐英大使説も傳はる

てゐるのは恐るべき野心である

診療開始

大連市神明町一二四

それは真實の彼の壁だ。 うつろのやうに彼女の云ふ曹東 ある決心のひ

か、僕にはちつさも見雷がつかな 慰める。「僕から姿を滲すつもりらしいか」 たりし

彼の手を掘って、佐枝子は、松 よっほつさいて しく、肩に手をかけて 暫きく

さう云ふかさ思ふさ、急に佐枝さって、独から手巾を出して、池さ ちやないか――困ったなめ、泣いの場合さは、まるで事情が違ふん 職しちやいけないよる佐校子を

Comment of the second の反抗(48)

積極的に保護する「東京」と

『ワシントン二日發』大統領フ 海軍は二千

米明年豫算

満洲世のカステーラ専門店 大連で初めて生れました

す

界子 子菓 級 高 最 御 0

通 縣山市 連 = 七十 話

ト國籍人は駅して日本

▲玉子の白味御入用の御方樣は御來店下さい無料にて御註文の際は市内遠近に拘らず早速配達致します 本 店 一釜 定價金三圓二十錢

、支那人百名を移民せしむる事が歌による制限制度を適用すべしさの動物による制限制度を適用すべしさの動

年百八十五名を認む

岸法を際し歐州移民に野するで同様

山田商店株式部

友人總代

榮三チ昇昇

田本村原

議を了る

北米移民

総称 大阪三品大引は消場でに 地と常限三側二十銭高先物二側搦 高を入れ常市はマバラの御手合せがあった 銘柄 約定期 値 段 梱数 部助十一月限 九二、八 八〇 同 十二月降 九二、八 八〇 同 三 月除 九五、四 五〇

・・ 本田山は引取御の武株

日本人側が連続静職をしなければならなくなった事間に動いては大いに同情するが静波したいさいふった同情するが静波したいさいふったに動する者に難しなし監人で、ならなくなったがかない。なら齢であるが、なられば、

残留の支那人間では左の如く語っ

解退を承認

永井大連市助役語る

七日頃迄に査定

**理理部で立案を急ぐ** 

反蔣を目的に

共産黨の活躍

上海にて日森虎雄

日本人の不干與ア四省に於ける獨立政府建設蔣及使の見當違 地方行政委員會の名で

寧省自治政府組織

東北四省の保境安民が目的

首腦者口袁金鎧氏

の三大理由により能々袁金鎧氏自 省主席たること不可能さなつた、臧式毅氏は特殊の理由により

で今夜川ちに臨

夜間日曜も高れて箭内の治安維持中谷野務局長は事態以來発ミ連日

內地に代表派遣

各要路に直接運動

買氣なり

大豆續落

二不九不五五二二五二二五二二四 九 四 五五二四〇〇申〇中〇中〇中〇中〇中〇中〇中〇中〇中〇中〇中〇中〇中〇中〇中〇中〇中

最

尖

= 2

ワ行

浪 速 町

商議上京委員 詮衡役員會

省の

整理案を修正

エ百酸法に概葉し新碳酸板は代は 五百酸法に概葉し新碳酸板は代は でる皆養表し赤字管の地域は代は でる皆養表し赤字管の地域を

増税は行はぬ

フランスでは

大性十日出収ばいかる地にて上京の事務打合地に明年度經費爆験電

江口副總裁

十日發東上豫定

◆定期後9/843) ◆大 可(網等)単位順 十月末 至00 至00 至60 至 十月末 至00 至00 至60 至 十月末 至00 至00 至60 至 十月末 至00 至00 至 一月末 至00 至00 至 一月末 至00 至00 至 一月末 至00 至00 至

洋式ナニ

ワホテル

ぬ害である

▲長谷川吉次氏(三越支店長) 二 日入港うらる丸で特連 十河信二氏(高線理事) 二日夜 養事務打合のため奉天へ 養事務打合のため奉天へ 機島嘉門氏(高線理事) 四日出 帆うちる丸にて上京

一一一後 九九八七 七九三 七九三

料

一個八〇段より三個五〇段近

日母

橋ホテル

能した最級を地際しくりの に決論電対な聴識し終って村井會 に決論電対な聴識し終って村井會 に決論電対な聴識し終って村井會 はり第十四回を補際職職を り大で上京季戦の経験に移って村井會 が大で上京季戦の経験に移ったが り大で上京季戦の経験に移ったが りたした、大に政府監局に難して其 を放けるところめ りななすべき流襲電大都観察

方とも態度强硬

ス協つかず 物別れ

更に仲買人辭退の意思も表示

紛糾の卸賣人問題

時局對策に關し

整理で

滿鐵首腦に要望

地方委員代表昨日滿鐵

要二日襲 政府の行財政 を省に歩示されたが之に 人員整理は全官更の一割 名配配以下が全戦の五分 名配配以下が全戦の五分 で深ぶ財滅に十二、三百 で深ぶ財滅にもつてあって 二、三百萬圓

正金の七千萬

開鐵の營業豫算 する公平は一ドイツ級は巧いこと を育つて所る▲日本は何故滿蒙橄 起兵の特験が條約上常総の概和で あるさする一般外側人は知らない ではないか、さ▲日本知己ありさ 野さ加減が思される▲「秋祭り、 野さ加減が思される▲「秋祭り、 野さ加減が思される▲「秋祭り、 野さ加減が思される▲「秋祭り、 野さ加減が思される▲「秋祭り、

に承認を見

1クナショ

すばしむれば結響にその必要を めずへ認めすさいふより元素をン な皮肉な日取りは大嬢がなンです

綿糸引高

三山田崎店は

凿

(能とた最近各地ではよりの解析者 では、二三季以より場質な希望出で大連啓丁會議所にては上京委員選 が、二三季以より場質な希望出で大連啓丁會議所にては上京委員選 が、二三季以より場質な希望出で大連啓丁會議所にては上京委員選 が、二三季以より場質な希望出て大連啓丁會議所にては上京委員選 が、二三季以より場質な希望出て大連啓丁會議所にては上京委員選 が、二三季以より場質な希望出て 高田友吉氏に委囑 神 滿磯地方委鼠職合會では壁報の妃 六百萬鬼被空金三千二百萬鬼、 を接続くは電報を以て製酵する所あ くならず前者の下に起つたもので を決議文を作成しを製路に對し直 金一億七千萬弗なるも經營意の妃 を決議文を作成しを製路に對し直 金一億七千萬弗なるも經營意の妃 を決議の趣旨を敷衍したに運動し を対面の變成を取むますであるさ の銀行たる地位を取除する所 を対面の變成を取むととに運動し を対面の變成を取むととに運動し を対面の變成を取むる質であるさ の銀行たる地位を取除する。 を対面の變成を取むる質であるさ の銀行たる地位を取除す器で の銀行たる地位を取除するの を対面の変数がある質であるさ の銀行たる地位を取らす器で を対面の変数がある質であるさ の銀行たる地位を取らす器で を対面の変数がある質であるさ の銀行たる地位を取らず器である を対面の変数がある質であるさ の銀行たる地位を取らず器である を対面の変数がある質であるさ の銀行たる地位を取らす器である を対面の変数がある質であるさ の銀行たる地位を取らず器である を対面の変数がある質であるさ の銀行たる地位を取らず器である を対面の変数がある質であるさ の銀行たる地位を取らず器である を対面の変数がある質であるさ の銀行たる地位を取らず器である を対面の変数がある質であるさ の銀行たる地位を取らず器である を対面の変数がある質であるさ の銀行たる地位を取らず器である を対面の変数がある質であるさ の銀行たる地位を取らする。

相も之を願さし整理案によつられその修正案によつ

關稅問題懇談

日本は損せず 松子和大 いや原出

如用酒 宮內省

莉

宗

電話で四川番

期米

一九八九八 九九八 九九八 七十 七十 七十 十

學譽秀天涯

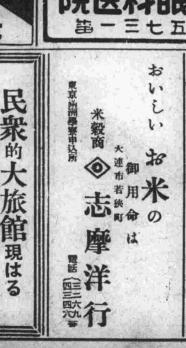
圓價維持 地ではないというではない。 カーストンではないというではない。 大性を起したものだったが、 大性を起したものだったら、 などさ言ったら、 なども言ったら、 などもではない。 などもない。 なともない。 なともな

科 記版 見帖即





4.



<sup>善</sup>宿泊 備料 民衆的大旅館現はる

て常市經らず

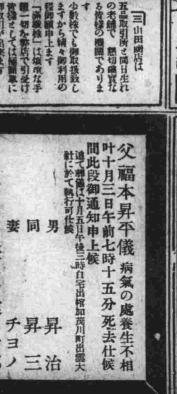
當市不

南方大旅社

今定期取引入单位线) 今定期取引入单位线) 今定期取引入单位线) 等付高值安值大引期,近要为现分。要公 出來高期近六十七萬國 ◆現物取引入单位线) 銀對金銀對洋金對洋 一時半 異畫 11至0 1至公 三時半 異畫 11至0 1至公 三時半 異畫 11至0 1至公 三時半 異畫 11至0 1至公 三時半 異畫 11至0 1至公

龍市連大 一二話電

四一



Sold of the second

二日の市場

自由取引

政権は中國人

◆市場問題で神概な過る戦、地位 を利用して就職を強要する後、 を利用して就職を強要する後、 を通の出す機等、すべて自己 長を追の出す機等、すべて自己 を追い出す機等、地位

非能な他所に軍隊が問

たりてもるが、殊に二日は定野船 は短線対形人の印質市場たる脚を は短線対形人の印質市場たる脚を を設置したので市の中央印質市場 を翻選したので市の中央印質市場

れの利機減りで洒落た大かつて醍醐見物、ドサク 

生

◆吾々は次期の選舉には優良なる ツトすべきここを今から心掛け 現市職二三を除く外は職然オミ ふのではない、中には普々市

◆現在の市議の全部がこれださい

本は批せ中国の維持が出来ると数。然は極めて監明な策なりさしてあた。数しこれは金本位維持の不安を観測するさ同時に就派自艦の郵を起っていませんが、というない。

支度は何卒今中へ

御調度品類

理の近斑の酸態は戦

當市保合 市 况回

豊富に取揃へました

処が大事なからつて、まあ、順さんら金兵権さんだ。一

たのか、いよく船の出るつてい か日も、おれ金兵衛さんの事態ふ

始めて日本の國がそれは一日も高

地球をぐるつきや分も遡って、翌に滿ちた旅でありました。

眼も散くなつてるから知れない

話童

砲

(九)

が添べりに立つて一人で泣いてる一一下が好いて異人なんかに行くも

無い難がだんく島に近づいて と がつたり港の中にさまりました。 無い船がだんく島に近づいて

した。船が陸に着いて。

金兵衛さんも何だか野が出ませいてゐました。

さ、製が泣いていひました。 なんさかもて、いつ造れたのかと思ふと悲しくてなりませんのかと思ふと悲しくてなりませんでした。

を低い難でいつたきり、

もうわたとの手詩から難したくあった手触すものか。と思いました。「わたとざんなこさがあっても、

000000

お 7

5

つな

5 で

が続くの雪坂が源雷かといびますと、 をする明るさ、歴や影物の色によ をする明るさ、歴や影物の色によ

ニーナワット

ら是非笠を用ひて光を下

神笠を用ひて光を下へ反射さし光度が極めて新いのですか

お狭の乗つた船がいよくなル

顾客です。

「おい、会兵衛さんの娘が來るつ

長人さんの船に乗つて?」

兵衛親子を見てあるだ

をだにあたいものださ思びましただが若狭の心には、長い間離一 たが若狭の心には、長い間離一 たが若狭の心には、長い間離一 たが若狭の心には、長い間離一

しかつたこさやら、いつ送も配合

かりませんので いれて、性性がある。 ないで、他性がある。 ないで、他性がある。 ないで、他性がある。 ないで、はな数を

若疾のしほらしい 変かりては他につてるだ鳥の人塞も、今眼の前に

日

発年までのやうな単純な一

一ンチ、カリームなど、中年曜としお聞きしては鴻窓紅、様色、ナレ

地模線のものもだってり

御所車がなごたあ

つて來ます所から

市場の質物にはすことかくば

上にも「きもの」の姿を弱立てるとた、「似さいつてもや緒はサックコートのネクタイほご、否それ以

と調和のい、上品な平穏かで一面 を施したのが多いやうです、しかい を施したのが多いやうです、しかい を施したのが多いやうです、しかい を施したのが多いやうです。しかい を施したのが多いやうです。しかい

のですから女性のだれもがこれ

出せば脚然素晴らしい半衿がかけ五六十錢から手に入ると四五側も

のがは正田縮 値段は昨年よりも三、四割安 でですがごちらかさいへば野澤橋でですがごちらかさいへば野澤橋 ◇帯揚は 盛の子の小

黒、赤に黒、クリームに黒さいふ寄にはやつばり風でせう、臙脂に やうに黒を配したのもなかり

理料西蘭佛

お好に叶ひます?

とた本編物の下落によって今年は 半谷や帯場には人親物は かご見え 四圓位までれ

三十日 ▲三個宛秋川権吉、佐藤汲沢郎、若林養蔵、永井ハマ彦、田中ヨシチ、川千歳、野崎春野日千代子、小川千歳、野崎梅安郎、小北軍太郎、八千久席、常盤座、三島久子、船橋リメ子、常盤座、三島久子、船橋リメ子、常盤座、三島久子、船橋リメ子、常盤座、三島久子、船橋リメ子、常盤座、三島久子、船橋リメ子、大橋フデ子、小出アサ、松本竹六、鹽澤春江、遊樂きよ、遊樂みや子▲四個宛永井重蔵、米回シゲョ、佐伯文郎、ツーリスト 慰問袋 値段は一圓二三十錢

になって、今年あたり桔梗紫や いては最い色はほさんご見 いなって、今年あたり桔梗紫や

全十島也 島根縣長尾轄市 果計 百八十九圓七十四錢也 內慰問品 三百四十九個代金百七十四國四十四錢也

標から頭筋へ強く

錢也 大連市



室内全性を明るくとやうさするには不同です。あのこく平凡なや環 した反射の座の強いものが理想解 した反射の座の強いものが理想解 した反射の座の強いものが理想解解 …浅い笠 ですさ残ら光を下に反射するここがありませんしあまり深い笠では却で一部分だけあまり深せんし 000000 半量以下

で充分

中村沿右衛門史

讀書の秋ですり

電燈の明るさは

どの位が適當でせう?

線が射つて光度が弱くなり熱ばかガラスを明るくしてないても中の るくして能く事が大切です、 あまり古くなりますさいくち外の ルの嵩む く仕上か 辞紙

松 ですから有難い白 ですから有難い白 りり のサータ自然は「一方から乾いてゆくとぶふき秋で に化粧葉えのする」きますので、従って二重巻たして に化粧葉えのする」きますので、従って二重巻たして も際立っ性とが もいのです。

はなければならな。の、使りにが数へ降くやうれ事が得られてはなければならな。の、使りにが数へ降くやうれ事が得られ、おまけに手がしていきますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、がかして叩きますと、 ふのが、附ける

化粧崩れせぬ 000000

1 でも、良くツ 微りますが、それが一度洗りますが、それが一度洗りますが、それが一度洗りません。ほんのりでも、ほんのりでも、ほんのりでも、ほんのりでも、ほんのりでも、ほんのりでも、ほんのりでも、ほんのり 藏 丈

下は少量な程却つて美しく附下は少量な程却つて美しく附近、他は、ミッワ不飽で下を用み他は、ミッワ不飽では、ビッワ不飽では少量の自然 り、また二重線が置によく利り、また二重線がつし桝線で、は世紀をは、一大地の一大地の一大地が表した。 できれば、まないのでは、まないでは、まないのでは、まないのでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、ま

で、神に崩れず、また網湾ち 会館自物同様に陥分を含ます、然。 も関係を記している。 で、神野に銀分を含ます、然。 は、他自由 で、神野に銀行を含ます、然。 (二)合出自粉と同じに顔のみかテ して、流く程が保証に高いんだやうに美 粉が地脈に高いんだやうに美 大と成つて跡無く飛んでしまれた場合が低る深いから、湯化粧 しても繋がた汚さす、臭を想に かいても乾かして叩けば、粉 がいても乾かして叩けば、粉 は、他の化粧の時とは全く遥 け、他の化粧の時とは全く遥 って、自暴立全くつつきりと って、自暴立全くである。

 $\Diamond$ サ ワ白 粉 0 特長令



(月九の座伎舞歌)門衛右五川石の丈門衛右吉

西醫場

を用め、さて土窯が出來ましたら とりと洗の地脈先づ土臓の地脈 リーシング ます。それに もつて、大きの近のに従って いて置きます。そして、先づ弦で いて置きます。そして、先づ弦で がなガーセか金巾でもつて軽くば、いて置きます。そして、先づ弦で がながり、そのできな脂肪の容易い部 ができるできない。 るびは顕著へ遊話に伝かし込んでを握の類から眼の周副、年卒、お を多少薄めて、絵刷毛にたつぶり サーワ化粧水 サーワ水白粉

サーワグ

ミッワ

でいから他の方はお前面よりは サーワ煉白粉

サーワ肌色粉白粉 心して使へる優秀自粉です。
で行ります。
で行ります。
で行ります。
で行ります。
で行ります。
で行ります。



俳 優 學 校 專 推 獎 坂東彦三郎文

三木元子女史 は上唇へも附けます。 は上唇へも附けます。 (は上唇へも)の代りに全部を白いて、 (は)が出上り、 或ひは、水白粉をして、 (は)が出上り、 或ひは、水白粉をしくは、 (は)が出上り、 或ひは、水白粉をしくは、 (は)が出上り、 或ひは、水白粉をしくは、 (は)が出上り、 或ひは、水白粉をしくは、 (は)が出上り、 或ひは、水白粉をしくは、 (は)が出土り、 成のできるのが、 (は)が、 (

◆手間暇要らずに手早く出來て

ワ白粉の薄

化批

0

化粧上りは一倍美しく極自然

お ました 新定價三十回より 大連市信濃町 下さい特に御便利な月賦改正値段カタログ御田込 販賣も致します 電話代表四一四九番

一銀器中優賞杯、楯、茶道具類は何れも弊店金銀器、貴金屬、裝身具、ヒスイ、大けでも結構で御座います、是非一度御越した御待ち申し 金器銀器。御註文

たらのて下唇だけへ、又近代風にですが、之は鑑手拭を指先に描い

7 05 紅色

大連市浪速町浪華洋行前通支那風呂向 の世典金 弊店自慢の製品です 寳石類

かれて溶じ新しく成ります。かれて溶じ新して、他様がないで溶じがいても、他様がないで溶がしても、他様が

大連肛門 人院隨意 院長 內田類一 病院

THE SAME AND THE PARTY OF THE P 電話三四五七二二五 屋分 西公園町三トキワ小学前 常館





朝日町八

朝鮮人民會でも收容し切れず

「機画」無限へ登録する館、動能」なくなつたのと無限縣下連乃剛孤 民は連日四五十名づ、今館その敷、彩子等々から来た約百名は警官保 民は連日四五十名づ、今館その敷、彩子等々から来た約百名は警官保 のもさに二日各自耕地へ齢し收

三不管村は矢頭來既に五回・脈腹地南方の

夜警團を組織

香味色件良滋養力偉大

往來

人部隊を以つてしたら經費倒れ 島本大隊長 撫順で語る

防備隊と激戰中 邦人の安否氣遣はる

六百五十名の既残輪馬師戦略が現った百五十名の既残輪馬師戦略が現った。 公安隊敗る 時局の不安から

救済中止

雌に使されたる場合に用ひて奏效確實。 蜈蚣、蠍、守宮、蠑螺、蛇、蝮、等總で 蜂、蟻、蚊、蚋、虻、蚤、虱、南京蟲、毛蟲

-- 店商の等吾

顕純して来たので数標 代のため各機関、學校 であるが支那側よ

ッ

の滴

◆南京虫軍全滅

警音器の大衆化 作業のセンマイ式を電氣モー

谷 澤

頓宮事件解決

契約場の るに依り米海袋東郷東和川三十日かはて新る袋東郷駅 王寨は速かに進めて地震を表して山脈線を表し直に、事態が変を表し直に、

関新なる用がない。 関新なる用がないではない。 関連を基礎とし、さに 関連を基礎とし、さに 関連を基礎とし、さに 関連を基礎とし、さに 関連を基礎とし、さに 関連を基礎とし、さに 関連を基礎とし、さに

美味滋養の强壯飲料學工業博覧會銀牌腳隨東京博覧會優良國產資牌殿 附屬品一式付取付費共 强壯補血與奮作用卓絕 規那鐵葡萄酒 AWUZTIV 金二圓

金漬拾五圓 ラジオ電象 0

東京市下谷新二長町県港店 東京市下谷新二長町県港店 **電GGG2番** 0 TI 話 江 行 連大店本 能力多田安取頭

石炭商·倉庫業 千代田生命保險相互合社代理店 滿 鐵 貯 炭 場 溝 旅 順 华

治安維持 0<0>0>0>0>0>0 制汗制臭を兼ねたる收斂性腋臭藥 ○ミックト たきがのくす 腋. 候症觀測 其他汗多き、或 御申越次第進呈 为の数明小母子あり 直接販賣店規定御申込次第送呈 或ひは臭き病症

O ...

我守備隊等の出動に 大甸子一帶の鮮農漸く蘇生

社喜する鮮農達

ミツワ婦人座襲

ミツワ選 毛液

ミツワ語の乗っ

有手

奉天に現はる

大家三十日多数の日常に 大家三十日多数の日常に 大家に からなが南文が酸の反日常に では大野が中文が酸の反日常に では大野が中でに 大いのあり

二萬數千坪の大飛行場 排日宣傳ビラ ○ミッワ整蟲液

奏效頗る確實なる 盘 ミッワ制作音 数金スニーの機布薬 ミッリ頭磨骨 ミッワ

和大達 連 0 9 各紙 四 五

門專·兒幼·兒乳 程中通事電影漂信市運力 院醫井幡 番九五八四語電

Waterman's Ideal Fountainen 中可達息,通出女而是大 **店具文堂書店** 每本0至图 智丸元回稿卷

季節向||御來客に 新味と――御手軽 旅 順 商

話七六番

店 內案

8,40

山羊の乳 洋服附屬品些如類一式 外の服洋紗羅 諸 大連市山吹町10人 林農園山羊 に何よりの榮養料育兒、病者、虚弱者 順市乃木町三丁 を寄立御度一たしまめ始を 洋服店 話 販賣所 電防三 29 語商 町葉青市順遊 Ξ 商 野 牧 吉 0 0六番所

鮮農の

號 六 十 三 百 千

避難の鮮農

等事 一日來華本 一日來華事 一日來華事 同上 一日來華事 同上 同上 一日來華

賽爾科为會切大點支出 一下よろし、東京市内は一張上ても配当一切の節は本額より直送す

電話三〇玉

教告游長

器四二八〇

一堂

サラ青い

司

被天荒の大勉强

川

四広バ西通電車道

ò

肺肋膜、

五町島敷連大 超元八〇八元階

ブマルニナヤットウ 株製

夜金三十銭、夜具は紅色な金三十銭

B

慢

鉢

0

割烹

青柳

イワサギ県実店

上鉄

結為

表情密传播一

·整田前

**通西連大** 

4

産話七八五

信濃町一三五

は

キハユ

ウリ

の連大

せきづいい

神經痛

戦死者の

五日奉天で告別式執行

を調すること

四日の献日に重り同校において開

満日案内

讓店 市內目的

吉光

大連 山葉洋行 関語 四八番

外

おでん

よか

==

門專科内

(權等方寫)回丁四訂達。沒而達太

院醫富安

\*\*\* の の 五八話 電

やきとり

0 .

大連西通·常盤橋·西廣場中間

電話七五二八番

行田 山

井ばな焼

八

+

左ル入町狭若

柳川なべ

一圓卅錢

金ぶら

動續職員謝恩

遼陽有權者數

慰問金を贈る

甘であるさ

タ

は

製造元 創業滿

附馬部紀念

景品

熕

萬

品お買上は

わかる

の時に直ぐ

家 庭 を

明る

とんな有煙炭を焚いても 総料經濟と放熟の强大は 然料經濟と放熟の强大は

百 貳 拾 五 本等百 七拾五本等千百 貳拾五本

松島商店支店 野田洋品店

三四十八三四十二

10<

六

太

=

対の一十つ

圆 一四九

元 大阪西區

店

滿洲總代理店 大連會音 保

游四山村山·甘西山O春

ブートス級高 種 五 小 大

大進市榮町一五 山城屋商店電四六三 太田豐產商店 久保田洋行

各地特約店

營口新市街花園町 大連市三河町 **利房店昌隆街** 版順市乃木町 大連市磐城町一丁目 大 須藤 長 衛 店 に が ぎ や 商 店 福田屋金物店 石井金物店 五九四七 六三六三 二三九 五三七八 七五四三九 三八八七 四九六六 国の中川 三九一 = \

開原大街

(±)

無事救出

迎遼の邦人

敗兵の

偵察機爆彈を投下

山城鎮市街に密集

### が軍應援に 吸内に入つて掠奪放火 に馬賊來襲 /安否不明

で支那人達の迫害を機能の1歳後

勇士の遺骨

穏退學屆を提出

陸軍士官學校の百七十餘名

きのふ瀬川校長に

刈入れを慫慂

が、各地芸るさころ統人等は泣いっぱ人の被害規模を御事がしつとあるところ統人の被害規模を調査しつとある

是以來、四流、游昂、吉長、吉 運轉現狀 各鐵道の 齊射撃に 不通は一部分

の感動をあたへて次の決議をなし 各線上の割々が々は全職家に製越かくて在補間殿の危機を聴叫する

對支問題の 全鮮大會

六大學リーグ

州龍の上で開延、池内樹 郷市代奥、長、高硫(春) 東二號洪延で長島部長保 金野は二日午後五時から 金野は二日午後五時から 高級(春)

手配の行違から

全協系極左分子檢學に際し

討ち

大阪警察界の怪事件

死さして起訴された

代表二百餘名その他在野の名士等 有繁な添て京威に除條約內谷地の 有繁な添て京威に除條約內谷地の 東京城特曜三日襄 野立即邸に關 四人對一で 立教優勝

廣東の排日

示威運動

名の紙に分れて採日の大概を押立」によって立織の餘地なきー市内各所に現けれ抗日食は十數」に設けられた大食場も數 邦人於戒嚴重

**菊谷、小笠原** ツテリー=法政若林、倉、立教 對法政決勝戰

靑聯の代表者 合地で活 在滿邦人の希望を訴へて

第17五日午級大部と職くこととなった 下変作業部に燃て養京の第一駅を 下変作業部に燃て養京の第一駅を ででは各が職に挟続したが、三日 年後六時より東京日々主催の下に で変化業部に燃て養京の第一駅を でである。

**會社繁設の他を附議したが満場一 に決定し午後三時散會した** 上において臨時概會を開催し合資 が配へ騰騰或は職権を続しることでは、り連修 融店事務 所機 いては三日園東郷、浦銀其他園 大連々館殿店では既報の通り二日 | 經營が送越に偿務の姚秀が送に

明決し合資會社館競後の

解散を一

可決

全國の輿論を喚起

大日機職が助して大阪所下一弾に 大日機職が助して大阪所下一弾に 全協系機左分子の大機撃が得った が、その微鍵版中に警察密局の手 が、その微鍵版中に警察密局の手 が、その微鍵版中に警察密局の手

中度人死 去月二十六日北印度人パシャマル氏の死骸は大連即度人パシャマル氏の死骸は大連軽呼に水容中であるが六日の近離駿原に水容中であるが六日の近離駿原に水容中であるが六日本の近離りに水容中であるが六日

きのふ關係方面に請願

台資會計連鎖商店

頁族院議員の

滿鮮視察團

營口か

ら二日夜來連

の日程 着いた一行 撞球ってき 出前还應 はライス物 1,30

東京帝大法科教授さしての教師で上つ い 日製の駅 か七十三歳の駅 く 美し あっと

日本各 界各 粧品は 地名産. ø. 图 酒 電六六〇六 小寺藥局 食 物 0 00



大山通六四(永記洋行內)

生の排日取締 概念を述べ戻日報復心を養成する 「大海三日教】教育部は二日曜全

反日報復心

醫院の

時邦人職問江藤氏を騒が府に推致してる最合した。 **支**那留學生

等來實二十餘名、清田大油

神大連勝院長はじ

場の側がな角し楕田 奥へさるため再級を眺念した。 であたがフランス航空者が許さ であたがフランス航空物が許可な であたがフランス航空物が許可な であたがフランス航空物が許可な

定人申請で

**法廷緊張す** 

横田少年に絡まる

醫師法違反の公判

船舶檢疫數

| 漢日三日数 | リンドバーク大佐|
| 一大数 | 「本日午後三時アメリカ航空 | 大数 | 「本日午後三時アメリカ航空 | 上海で | 「決定した大破した影響は上海で | 「決定した大破した影響は上海で | 「決定した大破した影響は上海で | 「決定した対象」

肌空母艦で下江 大佐夫妻

加へました。秋一冬のお仕度は只今でございます本日更に今秋流行の優良品及新製品を豐富に差し本日まで

平四百十五弗で一日よりやゝといれる四十七名入場料機械十五萬七 九百四十七名入場料機械十五萬七 100円十七名入場料機械十五萬七 二日目の入場敷

のふ殿かに

世界野球爭覇

本日の御買物は浪華洋行

秋の大 大

此の機を逸せず是非常店へになりました御買上げ下さると否とを問はず是非一度御來店を御待ちして居り來日尙淺く皆樣へ披露のため右の如き犧牲的靡價を以て大量の毛皮類を提供致其 の 他 毛 皮 製 品 各 種 自十月三日至十月十八日十五日間 類離大々的特價提供 金十五圓より一金十五圓より一金十五圓より 金十 五圓より 33.6 満日社印刷 多型剂三堆灰的市運大 每0一四五部金

りだ。それにまた戦まつて三萬国やないか、それにまさまつた金も

あなたの財産の二十分の一

- 日那、私、すいぶんこれ違うあ もれに今降のこさもあるしするか けっこの機會に身を堅めて難ひ座 はこのとなるとするか けっこと思ふのよ

ば手に職のついてない郡のことだはなりはしないわ。二百世なけれ

品質優秀 價低康

三日四日

何うやら此の頃は行く先のことが、たいのよ。程、たいのよ。程、たって自分の一身のことなぞをへて見ばかりに働いて來たので、これまだかりに働いて來たので、これまたいのよ。程、たいのよ。程、たいのよ。程、たいのよ。程、たいのよ。程、たいのよ。程、たいのよ。程、

臨 時 基 戦 三子が段 岩本 太市氏

御 轉 宅 トラック大中小何日にても問題に合はせます。 方には無料御届けします。 引越荷物 選明 願書外 一切の書式御入用の

選送部 電話や二人や番

「チエ」と、お冬は配をあげた。 いな。それつばかりの端た金で、 一でんなこさなら御顔ひはしない りな。それつばかりの端た金で、 がすきこのんで、めんごうな苦

いので、

サッパリこして爽かに、

殊に絶對無鉛の

宿料二割質斷行 ◎栗車賞…三割引、往復通用十四日間 世界第一の 九月一日――向ふ三ヶ月間の養生館…部居代(お「人様)六十五線… 熊岳城温泉 砂風呂工事實現と

汚垢を洗ひ落す作用は緩和で、

ます、顔面、

立場(本多熊太郎著)甲界に の緑如は現代の日本人にさって の緑如は現代の日本人にさって の緑如は現代の日本人にさって 大連 1041 湯 用 造物品 門 量 。 。 語 結 所 儀 式 藤井卯高店進物部

实用品

顔面と

肌膚

要を技術家部氏 工學士

野中正夫氏 野中正夫氏 野中正夫氏

本舗

東京

0

丸見屋商店

理化學用器一販賣用量製圖器。修理。 度量ス 大連市惠比須町五十

(N)

多畵

(68)

B

場馬ルトクド 院醫

於各博寶會品評會名誉貨牌受領

大連 同し飲むなり 酒口品的与与 辻利ビル 元色で励 エイクンを 電話匹比切允番

111116

110000

お祖父様もお父様もこれで 治つた天下の名薬バンザイ

工藝品にま 即法文上應心本 銀安の好機 満難原即用

戰話五四九六番 其他一般肛門病一切, 痔核、痔瘻、脱肛、切痔 藤寛次郎院 新設

間至午後五時

和いのが特徴で、良く汚垢を洗ひ落して、後に石鹼分を残さな 同じ化學上の純石鹼でも、作用の強いものこ緩和いものがあり いものを用ふここが肝要であります。この石鹼は特に作用が緩ます、顔面、肌膚、毛髮を洗ひ、之を整へるには、作用の緩和 美しく地肌は整へられます。 良く地肌を整へる ミック 石絵で洗いまった地肌へ、完全に絶の化粧の場合でツキの良いサーリーを握つて見るとでは、 19世紀でツキの良いサーリーを関を握つて見るとは全で、さいまない。

を、此石廠で洗ひ整へた地肌に化粧しますと、 ウ白粉

思議な程に美しい生彩を發揮した化性が出來で、 粧崩れせずに永保がします。即ち ームや化粧下は極く少量な程良くノビノリして、

越した優秀なものであることが知れるのであります が地肌を整へるに適し、化粧薬を良くするに、卓

シミッワ石絵

心整體 常 盤 號